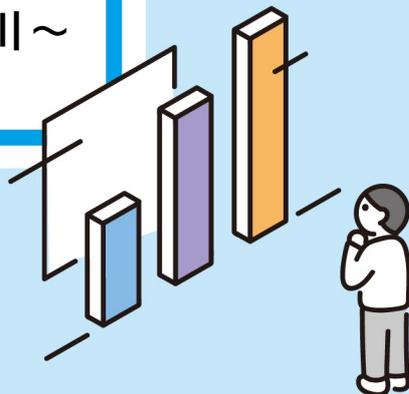
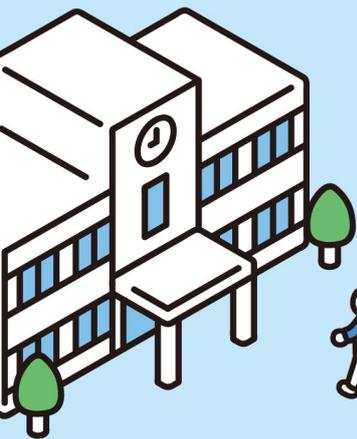




ランキング かながわ

地域編

～統計指標でみる神奈川～



令和6年12月(改訂第4版)

はしがき

国勢調査をはじめとする各種の統計調査は、県民の皆様や県内事業所等の皆様のご協力のもと、人口・世帯、企業活動、就業状況、家計、物価など多岐の分野にわたって行われており、その調査結果は、地域の実態把握、各種の計画策定や個別の行政運営などに幅広く利用されています。

こうした各種の統計調査結果をもとに、神奈川県では、全国における本県の順位を整理するものとして「ランキングかながわ」を平成20年度に初めて作成し、その後、姉妹編として、県内の地域や市町村の状況について取りまとめた「ランキングかながわ(地域編)」を作成してきました。

今年3月に作成した「ランキングかながわ」(改訂第5版)に続き、このたび、「ランキングかながわ(地域編)」について、数値改訂はもちろん、統計指標を見直して新たな項目を取り入れるなど、平成30年度以来6年ぶりに改訂いたしました。

本書は‘親しみやすい統計で神奈川のことを知ってもらおう’をコンセプトに、統計指標や統計用語の解説のほか、統計に関するクイズを掲載するなど、楽しみながらご覧いただける内容となるよう努めたものです。県民の皆様をはじめ多くの方々に、指標が示す県内市町村や各地域の特色を、いろいろな角度から知っていただくとともに、この機会にさまざまな統計をより一層ご活用いただけましたら幸いです。

最後に、本書の作成にあたり統計指標を引用させていただきました関係機関の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和6年12月

神奈川県統計センター所長

小 森 晴 美

総目次

人口・自然	1
1 指標・統計表	2
人口・自然編からのクイズ	14
産業・労働	15
2 指標・統計表	16
産業・労働編からのクイズ	30
県民生活	31
3 指標・統計表	32
県民生活編からのクイズ	46
教育・子ども	47
4 指標・統計表	48
教育・子ども編からのクイズ	60
安全・医療・福祉	61
5 指標・統計表	62
安全・医療・福祉編からのクイズ	76
6 付録	77
クイズの答え	78
指標数値一覧	84
神奈川県的主要統計	88

指標数

1 人口・自然	33指標
2 産業・労働	30指標
3 県民生活	37指標
4 教育・子ども	26指標
5 安全・医療・福祉	38指標
合計	164指標

1 人口・自然

1-01 人口	3
1-02 人口密度(1戸当たり)	
1-03 人口増減率	
1-04 自然増減率	
1-05 社会増減率	
1-06 婚姻率(人口1000人当たり)	5
1-07 合計特殊出生率	
1-08 人口性比	
1-09 昼夜間人口比率	
1-10 自市町村内での従業・通学者割合	7
1-11 他市町村への通勤・通学者割合	
1-12 うち県内他市町村	
1-13 うち神奈川県外	
1-14 他市町村からの通勤・通学者数	
1-15 うち県内他市町村	
1-16 うち神奈川県外	
1-17 外国人数	9
1-18 生産年齢人口割合	
1-19 年少人口割合	
1-20 老年人口割合	
1-21 100歳以上人口数(人口10万人当たり)	
1-22 一般世帯数	11
1-23 1世帯当たり人員(対一般世帯)	
1-24 単独世帯割合(対一般世帯)	
1-25 核家族世帯割合(対一般世帯)	
1-26 65歳以上の単独世帯割合(対一般世帯)	
1-27 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合(対一般世帯)	
1-28 面積	13
1-29 面積割合	
1-30 可住地面積	
1-31 可住地面積割合	
1-32 林野面積	
1-33 林野面積割合	

2 産業・労働

2-01 15歳以上就業者数	17
2-02 産業大分類別就業者構成比(常住地ベース)	
2-03 事業所数	19
2-04 従業者数	
2-05 産業大分類別従業者構成比(事業所ベース)	
2-06 農業産出額(推計)	21
2-07 農業産出額(推計)品目別構成比	
2-08 耕地面積	
2-09 耕地率	
2-10 林業経営体数	
2-11 漁業経営体数	
2-12 製造業製造品出荷額等	23
2-13 製造業製造品出荷額等 産業中分類別構成比	
2-14 製造業事業所数	
2-15 製造業従業者数	
2-16 年間商品販売額(卸売業)	25
2-17 従業者数(卸売業)	
2-18 年間商品販売額(小売業)	
2-19 従業者数(小売業)	
2-20 小売店数(人口1000人当たり)	
2-21 サービス系産業(民営)事業所数	27
2-22 サービス系産業(民営)従業者数	
2-23 飲食店数(人口1000人当たり)	
2-24 学術・開発研究機関(民営)事業所数	
2-25 学術・開発研究機関(民営)従業者数	
2-26 労働力率(総数)	29
2-27 労働力率(男性)	
2-28 労働力率(女性)	
2-29 「M字カーブ」の谷の深さ(女性)	
2-30 完全失業率	

3 県民生活

3-01 持ち家比率	33
3-02 持ち家住宅の延べ面積 <small>(1住宅当たり)</small>	
3-03 一戸建住宅比率	
3-04 共同住宅比率	
3-05 空き家比率	
3-06 新設住宅着工戸数	35
3-07 うち持家数	
3-08 うち貸家数	
3-09 うち分譲住宅数	
3-10 都市公園数	
3-11 都市公園面積 <small>(1人当たり)</small>	
3-12 公共図書館蔵書数	37
3-13 個人貸出登録者数	
3-14 個人貸出冊数 <small>(1人当たり)</small>	
3-15 理容・美容所数 <small>(人口1000人当たり)</small>	
3-16 登録自動車数 <small>(人口1000人当たり)</small>	39
3-17 貨物自動車数 <small>(人口1000人当たり)</small>	
3-18 普通乗用車数 <small>(人口1000人当たり)</small>	
3-19 小型乗用車数 <small>(人口1000人当たり)</small>	
3-20 特種用途自動車数 <small>(人口1000人当たり)</small>	
3-21 小型二輪車数 <small>(人口1000人当たり)</small>	
3-22 給水人口普及率	41
3-23 公共下水道人口普及率	
3-24 ごみの排出量 <small>(1人1日当たり)</small>	
3-25 うち家庭系ごみの排出量 <small>(1人1日当たり)</small>	
3-26 ごみのリサイクル率	
3-27 入込観光客数	43
3-28 うち宿泊客数	
3-29 うち日帰り客数	
3-30 観光客消費額	
3-31 うち観光客宿泊費	
3-32 うち飲食費	
3-33 うちその他消費額	
3-34 県内市町村の審議会等委員の女性比率	45
3-35 県内市町村職員の管理職の女性比率	
3-36 ふるさと納税受入額	
3-37 ふるさと納税に係る住民税控除額	

4 教育・子ども

4-01 幼稚園数	49
4-02 幼稚園在園者数	
4-03 幼稚園在園者数(教員1人当たり)	
4-04 幼保連携型認定こども園数	
4-05 幼保連携型認定こども園在園者数	
4-06 幼保連携型認定こども園在園者数 (教員・保育職員1人当たり)	
4-07 保育所数	51
4-08 保育所入所児童数	
4-09 保育所入所児童数(保育士1人当たり)	
4-10 保留児童数	
4-11 待機児童数	
4-12 小学校数	53
4-13 小学校児童数	
4-14 小学校児童数(教員1人当たり)	
4-15 小学校外国人児童数	
4-16 中学校数	55
4-17 中学校生徒数	
4-18 中学校生徒数(教員1人当たり)	
4-19 中学校外国人生徒数	
4-20 高等学校数(全日制・定時制)	57
4-21 高等学校生徒数(全日制・定時制)	
4-22 高等学校生徒数(全日制・定時制)(教員1人当たり)	
4-23 大学等進学率	
4-24 専修学校数	59
4-25 専修学校生徒数	
4-26 大学等留学生数(居住地別)	

5 安全・医療・福祉

5-01 出火件数	63
5-02 出火件数(人口1万人当たり)	
5-03 火災死傷者数	
5-04 火災損害額	
5-05 火災損害額(1人当たり)	
5-06 消防署数	
5-07 消防吏員数	65
5-08 消防吏員数(人口1万人当たり)	
5-09 消防署出動回数	
5-10 消防団員数	
5-11 消防団出動回数	
5-12 交通事故発生件数	67
5-13 交通事故発生件数(人口1000人当たり)	
5-14 交通事故死傷者数	
5-15 交通事故死傷者数(人口1000人当たり)	
5-16 刑法犯認知件数	
5-17 刑法犯認知件数(人口1000人当たり)	
5-18 病院数	69
5-19 病院病床数(人口1万人当たり)	
5-20 一般診療所数	
5-21 医師数(人口1万人当たり)	
5-22 歯科診療所数	
5-23 歯科医師数(人口1万人当たり)	
5-24 看護師・准看護師数(人口1万人当たり)	71
5-25 薬局数	
5-26 薬剤師数(人口1万人当たり)	
5-27 保健師数(人口1万人当たり)	
5-28 助産師数(人口1万人当たり)	
5-29 実績医療費(市町村国民健康保険)(1人当たり)	
5-30 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)数	73
5-31 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設) 定員数(65歳以上人口1000人当たり)	
5-32 有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け 住宅以外)数	
5-33 有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け 住宅以外)数(65歳以上人口1万人当たり)	
5-34 要介護(要支援)認定者(第1号被保険者)数 (65歳以上人口1000人当たり)	
5-35 障害福祉サービス等事業所数	75
5-36 障害福祉サービス等事業所数(人口1万人当たり)	
5-37 障害児通所支援等事業所数	
5-38 障害児通所支援等事業所数(18歳未満人口1万人当たり)	

▼本書の利用方法

E. 統計表

A. 統計指標の名称及び番号と県内1位の市町村名

B. 統計指標の解説、用語の説明
C. 関連する情報やグラフ

The screenshot shows two pages from the book. The left page (page 8) features several statistical indicators with their names and numbers, and a pie chart titled '県内外国人口構成比 (2024年1月1日現在)'. The right page (page 9) displays a large statistical table with columns for various indicators and rows for different municipalities. A red box highlights a specific row in the table, and a line connects it to the 'E. 統計表' label at the top right.

D. ページで利用している統計調査に関する情報

本書は、見開きページの左側に統計指標の解説を、右側に統計表を掲載しています。

A. 統計指標の名称及び番号と県内1位の市町村名

左ページの統計指標の名称及び番号は、右ページの統計表にある名称及び番号と対応しています。

例：1-01
名称に続けて掲載しているのは県内1位の市町村名です。

B. 統計指標の解説、用語の説明

指標

統計指標の示す値や順位の解説をしています。

この統計は

統計指標の基となった統計調査等の名称を掲載しています。

用語

統計指標やその解説で用いた用語の説明です。

C. 関連する情報やグラフ

統計に関するより詳しい説明や時系列の変化などを掲載しています。

D. ページで利用している統計調査に関する情報

統計情報

統計調査の公表周期やその調査の特色などを掲載しています。

E. 統計表

統計表は市町村別と地域別に分かれています。地域区分は次ページを参照してください。

▼利用上の注意

採用した統計指標について

- 本書に掲載した統計指標は、各指標の統計調査結果を基に編集しました。
- 掲載データの時点は統計表によって異なります。時点は統計表、注釈及び解説などに掲載しています。

用語について

- 本書においては、すべて市町村別の順位を基に作成しています。
- 本文等に記載の市町村数の単位について、町や村が含まれていない場合も、一律「市町村」と表記しています。
- 統計指標の名称においては、「増加率」や「減少率」を一律「増減率」と表記しています。

数値表記について

- 本書に掲載している数値は、単位未満の端数を四捨五入して表記しています。
- 数値の表記方法は、注釈のない限り原則として下記のとおりです。
 - 「-」：事実のないもの
 - 「0」：単位に満たないもの

順位について

- 本書においては、市町村別の順位を決定するにあたり、次のルールを適用しています。
 - (1) 端数を含めた値の大小比較により順位を設定する。
 - (2) 値が全く同じものについては同順位とする。同順位となった場合、その直近下位の順位は設けない(1位が2市町村ある場合は、次の順位を3位とする)。
ただし、値が同じ場合でも出典元が順位を変えている時はそれに従う。

統計表について

- 本書において掲載した統計表は、次のルールに基づいて作成しています。
 - (1) 順位に関わらず、市町村を全国地方公共団体コード(総務省)の番号順に掲載する。
 - (2) 統計表の右下には出典の統計を掲載する。

統計情報の時点について

- 本書においては、原則として令和6年9月末までに得られた情報を基に作成しています。

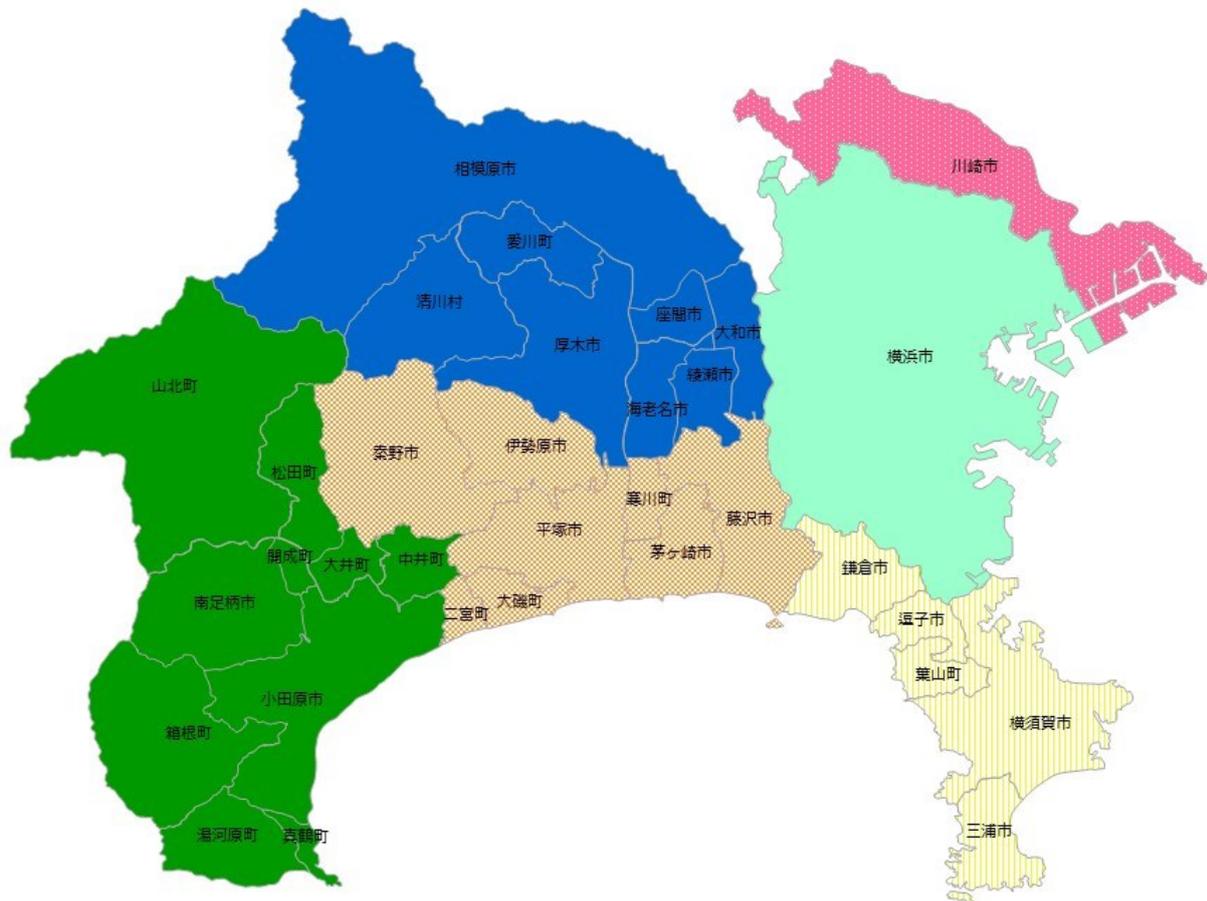
ご案内

- 本書の内容は以下のウェブサイトに掲載しています。
ランキングかながわ～統計指標でみる神奈川～のウェブサイト
(https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x6z/tc20/ran_kana/top.html)

地域区分について

- 本書の地域区分は右表のとおりです。
- 地域区分別の数値が算出できない場合、地域別の欄が空欄になっています。

地域名	市町村名
横浜地域	横浜市
川崎地域	川崎市
横須賀三浦地域	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
県央地域	相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
湘南地域	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町
県西地域	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町



1

人口・自然



1 人口・自然

人口 ▶▶▶ 1位 横浜市

1-01

指標 2024年4月1日現在の神奈川県人口は921万8071人です。

県内市町村では、横浜市が376万7635人で最も多く、次いで川崎市が154万8254人、相模原市が72万3435人の順となっています。

2023年10月1日現在の人口推計結果と比べると、横浜市は静岡県(355万5千人)、川崎市は鹿児島県(154万9千人)と同じくらいの人口です。

この統計は [神奈川県人口統計調査][人口推計]

用語 人口

神奈川県人口統計調査や人口推計は、5年ごとに行われる国勢調査結果を基礎として、出生、死亡、転出入等の人口動向から各月・各年の人口を算出するものです。

日本国内に常住する外国人は、基本的に調査の対象ですが、外国政府の外交使節団・領事機関の構成員(随員を含む。)及びその家族や、外国軍隊の軍人・軍属及びその家族は除外しています。

人口密度(1km²あたり) ▶▶▶ 1位 川崎市

1-02

指標 2024年4月1日現在の神奈川県人口密度は3815人/km²です。

県内市町村で人口密度が最も高いのは川崎市で1万830人/km²、最も低いのは清川村で41人/km²です。

令和2年国勢調査での全国平均は338.2人/km²です。県内の多くの市町村は、全国平均と比べると人口密度が高くなっています。

この統計は [神奈川県人口統計調査][令和2年国勢調査]

用語 人口密度

人口密度 = 市町村別人口 / 市町村別面積

人口増減率 ▶▶▶ 1位 大井町

1-03

指標 2023年の神奈川県人口増減率は0.03%の減少です。

県内市町村で人口増減率が最も高いのは大井町で0.64%の増加、最も低いのは真鶴町で2.63%の減少です。11市町村が増加し、22市町村が減少しました。

この統計は [神奈川県人口統計調査]

自然増減率 ▶▶▶ 1位 川崎市

1-04

指標 2023年の神奈川県自然増減率は0.48%の減少です。

県内市町村で自然増減率が最も高いのは川崎市で0.15%の減少、最も低いのは湯河原町で2.07%の減少です。すべての市町村で死亡者数が出生児数を上回る自然減少となりました。

この統計は [神奈川県人口統計調査]

社会増減率 ▶▶▶ 1位 箱根町

1-05

指標 2023年の神奈川県社会増減率は0.44%の増加です。

県内市町村で社会増減率が最も高いのは箱根町で1.73%の増加、最も低いのは清川村で0.91%の減少です。25市町村で転入者が転出者を上回る社会増加となり、7市町村で転出者が転入者を上回る社会減少となりました。また、1市町村で転入者と転出者が同値となり社会増減なしとなりました。

この統計は [神奈川県人口統計調査]

用語 人口増減率、自然増減率、社会増減率

- ・人口増減率 = 人口増減数 / 期首人口
- ・自然増減率 = (出生児数 - 死亡者数) / 期首人口
- ・社会増減率 = (入国超過数 + 市町村間転入超過数) / 期首人口

※入国超過数 = 入国者数 - 出国者数

市町村間転入超過数 = 市町村間転入者数 - 市町村間転出者数

統計情報 神奈川県人口統計調査

神奈川県人口統計調査結果報告 [県統計センター]
公表日: 毎月末 公表周期: 毎月
5年ごとの国勢調査結果を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる出生、死亡、転入及び転出の月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計したものです。年に1度、年間集計結果を取りまとめています。

統計情報 人口推計

人口推計(2023年10月1日現在)
[総務省統計局]
刊行日: 令和6年4月12日 公表周期: 毎月
5年ごとに実施される国勢調査の実施間の時点においての各月、各年の人口の状況を把握するために行うものです。

市町村・地域名	人口		人口密度 (1km ² 当たり)		人口増減率		自然増減率		社会増減率	
	2024年 1-01	2024年 1-01	2024年 1-02	2024年 1-02	2023年 1-03	2023年 1-03	2023年 1-04	2023年 1-04	2023年 1-05	2023年 1-05
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	人		人/km ²		%		%		%	
神奈川県	9,218,071		3,815		-0.03		-0.48		0.44	
横浜市	3,767,635	1	8,602	3	-0.01	13	-0.44	6	0.43	14
川崎市	1,548,254	2	10,830	1	0.34	6	-0.15	1	0.49	13
相模原市	723,435	3	2,199	17	-0.17	15	-0.55	12	0.37	18
横須賀市	371,930	5	3,689	11	-1.19	26	-1.03	25	-0.16	29
平塚市	258,166	6	3,807	9	0.33	7	-0.71	16	1.04	3
鎌倉市	170,919	11	4,310	8	-0.49	20	-0.80	18	0.31	21
藤沢市	443,523	4	6,376	6	-0.00	12	-0.36	5	0.36	19
小田原市	185,986	10	1,637	21	-0.45	19	-0.85	20	0.40	16
茅ヶ崎市	245,437	7	6,875	5	0.56	3	-0.48	7	1.04	4
逗子市	55,771	17	3,227	13	-0.80	23	-0.94	22	0.15	24
三浦市	39,819	19	1,242	23	-1.76	31	-1.62	31	-0.14	27
秦野市	160,674	12	1,549	22	-0.24	16	-0.78	17	0.54	10
厚木市	223,706	9	2,384	16	0.05	11	-0.49	8	0.54	11
大和市	243,626	8	8,993	2	0.23	9	-0.30	4	0.53	12
伊勢原市	101,489	15	1,827	18	0.24	8	-0.60	14	0.84	5
海老名市	140,504	13	5,284	7	0.45	4	-0.22	2	0.68	7
座間市	131,863	14	7,505	4	-0.13	14	-0.53	10	0.40	17
南足柄市	39,517	20	512	28	-0.94	24	-1.05	26	0.11	25
綾瀬市	82,767	16	3,738	10	-0.33	18	-0.59	13	0.26	22
葉山町	30,898	23	1,813	19	-1.12	25	-0.97	23	-0.15	28
寒川町	48,552	18	3,640	12	0.15	10	-0.54	11	0.69	6
大磯町	30,952	22	1,802	20	-0.67	21	-1.00	24	0.33	20
二宮町	26,811	24	2,953	14	-0.68	22	-1.09	27	0.41	15
中井町	8,912	31	446	29	-1.50	28	-1.26	29	-0.24	30
大井町	17,306	27	1,203	24	0.64	1	-0.52	9	1.16	2
松田町	10,277	29	272	30	-1.43	27	-0.94	21	-0.50	31
山北町	9,154	30	41	32	-1.52	29	-1.52	30	0.00	26
開成町	18,797	26	2,870	15	0.44	5	-0.23	3	0.68	8
箱根町	10,866	28	117	31	0.57	2	-1.17	28	1.73	1
真鶴町	6,228	32	883	26	-2.63	33	-1.99	32	-0.63	32
湯河原町	22,182	25	541	27	-1.83	32	-2.07	33	0.24	23
愛川町	39,229	21	1,144	25	-0.26	17	-0.85	19	0.59	9
清川村	2,886	33	41	33	-1.62	30	-0.71	15	-0.91	33

横浜地域	3,767,635	1			-0.01	3	-0.44	2	0.43	4
川崎地域	1,548,254	3			0.34	1	-0.15	1	0.49	2
横須賀三浦地域	669,337	5			-1.01	6	-1.00	6	-0.01	6
県央地域	1,588,016	2			-0.04	4	-0.48	3	0.45	3
湘南地域	1,315,604	4			0.13	2	-0.56	4	0.69	1
県西地域	329,225	6			-0.59	5	-0.97	5	0.38	5

1-01~1-05 神奈川県人口統計調査

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査【総務省統計局】
 公表日:令和3年11月30日~順次公表 公表周期:5年ごと
 日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う
 国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人
 及び世帯を対象にしています。

注釈

- 1-01
1)2024年4月1日現在の値。
- 1-02
1)神奈川県人口統計調査の2024年4月1日現在の人口と、2023年12月21日公表の国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(令和5年10月1日現在)」の数値に基づき算定したもの。
- 1-03~1-05
1)2023年中の値。
 2)端数を含めた値の大小比較により順位を設定している。
 3)社会増減の転入・転出には、県内市町村間の移動を含む。

1-06 婚姻率(人口1000人当たり) ▶▶ 1位 川崎市

指標 2021年の神奈川県の人人口1000人当たりの婚姻率は4.19です。

県内市町村で婚姻率が最も高いのは川崎市で5.63、最も低いのは山北町で1.04です。

この統計は [令和3年神奈川県衛生統計年報]

用語 婚姻率

年間の婚姻届出件数を10月1日現在の日本人人口で割ったものです。

婚姻率 = 年間婚姻届出件数 / 日本人人口 × 1000

ここでいう婚姻届出件数は、各年1月1日から同年12月31日までの間に、市区町村長に届出のあった件数をいいます。

1-07 合計特殊出生率 ▶▶ 1位 開成町

指標 2021年の神奈川県の合計特殊出生率は1.19です。

県内市町村で合計特殊出生率が最も高いのは開成町で1.64、最も低いのは箱根町で0.45です。

この統計は [令和3年神奈川県衛生統計年報]

用語 合計特殊出生率

合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数に相当します。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{年間の母の年齢別出生数}}{\text{10月1日現在年齢別女性人口}} \right\} \times \text{※15歳から49歳の合計}$$

1-08 人口性比 ▶▶ 1位 愛川町

指標 2024年の神奈川県の人口性比は98.21です。人数で比較すると女性の方が8万3095人多くなっています。

県内市町村で男性の割合が最も高いのは愛川町で110.12、女性の割合が最も高いのは湯河原町で86.37です。

県内33市町村のうち、男性の方が多いのは9市町村、女性の方が多いのは24市町村です。

この統計は [神奈川県人口統計調査]

用語 人口性比

人口性比とは女性100人に対する男性の数をいいます。

$$\text{人口性比} = \frac{\text{男性人口}}{\text{女性人口}} \times 100$$

1-09 昼夜間人口比率 ▶▶ 1位 箱根町

指標 2020年10月1日現在の神奈川県の昼夜間人口比率は91.68です。

県内市町村で昼夜間人口比率が最も高いのは箱根町で153.25です。全国の市区町村別順位をみると、箱根町は13番目に昼夜間人口比率が高くなっています。また、中井町(129.17)は全国で22番目に昼夜間比率が高くなっています。

県内市町村で昼夜間人口比率が最も低いのは二宮町で75.44です。全国の市区町村別順位をみると、二宮町は12番目に昼夜間人口比率が低くなっています。また、真鶴町(76.26)は全国で18番目に昼夜間人口比率が低くなっています。

昼夜間人口比率が100を超える場合、常住地以外の市町村へ通勤・通学している人数(流出人口)より、他の市町村から通勤・通学してくる人数(流入人口)が多いことを示しています。一方、昼夜間人口比率が100未満の場合は、常住地以外へ通勤・通学している人数の方が多いことを示します。県内では4市町村が流入超過、29市町村が流出超過となっています。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の比率をいいます。

$$\text{昼夜間人口比率} = \text{昼間人口} / \text{夜間人口} \times 100$$

統計情報 神奈川県衛生統計年報

令和3年神奈川県衛生統計年報 [県健康医療局健康増進課]
公表周期: 毎年

人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として行うもので、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としています。

統計情報 神奈川県人口統計調査

神奈川県人口統計調査結果報告 [県統計センター]

公表日: 毎月末 公表周期: 毎月

5年ごとの国勢調査結果を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる出生、死亡、転入及び転出の月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計したものです。年に1度、年間集計結果を取りまとめています。

市町村・地域名	婚姻率 (人口1000人当たり)		合計特殊出生率		人口性比		昼夜間人口比率	
	2021年		2021年		2024年		2020年	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	4.19		1.19		98.21		91.68	
横浜市	4.17	5	1.18	16	97.20	19	92.55	16
川崎市	5.63	1	1.18	17	101.29	8	87.27	24
相模原市	3.84	7	1.19	15	99.12	12	88.94	18
横須賀市	3.16	19	1.12	20	98.63	14	92.17	17
平塚市	3.30	16	1.12	19	99.57	11	98.73	6
鎌倉市	3.22	17	1.20	13	88.39	29	97.21	8
藤沢市	4.19	4	1.35	5	97.28	18	92.93	15
小田原市	3.55	11	1.19	14	93.32	25	97.39	7
茅ヶ崎市	3.46	12	1.28	9	93.90	24	81.32	29
逗子市	3.37	14	1.46	3	87.45	31	81.61	28
三浦市	2.03	31	1.00	28	91.53	28	87.62	22
秦野市	2.99	21	1.07	24	101.96	7	87.72	21
厚木市	3.63	10	1.16	18	106.25	2	115.80	3
大和市	4.97	2	1.30	7	99.08	13	87.48	23
伊勢原市	3.86	6	1.11	22	102.71	5	95.54	11
海老名市	4.68	3	1.32	6	100.79	9	93.83	14
座間市	3.77	8	1.20	12	98.52	15	87.82	20
南足柄市	2.82	23	1.00	27	95.36	21	86.90	25
綾瀬市	3.18	18	1.36	4	102.00	6	95.97	10
葉山町	2.31	30	1.23	11	88.12	30	77.77	31
寒川町	3.65	9	1.26	10	102.77	4	94.73	12
大磯町	2.38	29	1.10	23	94.80	22	79.52	30
二宮町	2.89	22	1.03	26	91.71	27	75.44	33
中井町	1.65	32	0.94	30	99.69	10	129.17	2
大井町	3.38	13	1.55	2	95.46	20	85.74	27
松田町	2.64	26	1.06	25	98.05	17	96.60	9
山北町	1.04	33	0.89	31	98.48	16	99.28	5
開成町	2.65	25	1.64	1	94.06	23	85.78	26
箱根町	2.60	27	0.45	33	92.66	26	153.25	1
真鶴町	2.42	28	0.84	32	86.52	32	76.26	32
湯河原町	2.73	24	1.11	21	86.37	33	88.09	19
愛川町	3.06	20	0.96	29	110.12	1	102.68	4
清川村	3.31	15	1.30	8	105.70	3	94.67	13

横浜地域	4.17	2			97.20	4	92.55	3
川崎地域	5.63	1			101.29	1	87.27	6
横須賀三浦地域	3.08	6			94.04	5	91.62	4
県央地域	3.99	3			100.61	2	93.57	2
湘南地域	3.62	4			98.07	3	90.85	5
県西地域	3.14	5			93.53	6	96.61	1

1-06~1-07 令和3年神奈川県衛生統計年報、1-08 神奈川県人口統計調査、1-09 令和2年国勢調査

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日:令和3年11月30日~順次公表
公表周期:5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象としています。

注釈

- 1-06
1)率の算出には、神奈川県人口統計調査の2021年10月1日現在の人口を用いた。
- 1-07
1)率の算出には、神奈川県年齢別人口統計調査の2021年1月1日現在の年齢(各歳・5歳階級)別、男女別人口を用いた。
- 1-08
1)2024年4月1日現在の値。

- 1-09
1)2020年10月1日現在の値。
2)夜間人口=調査時に当該地域に常住している人口。
3)昼間人口=当該地域の夜間人口から、他の地域へ通勤・通学している者を減じ、他の地域から通勤・通学に来ている者を加えた人口。

1-10

自市町村内での従業・通学者割合
▶▶ 1位 箱根町

指標 2020年10月1日現在、常住する市町村内で従業（通勤又は自宅から従業）・通学する人の割合が最も高いのは箱根町で57.60%、最も低いのは二宮町で19.98%です。

箱根町を含む12市町村では、他市町村に通勤・通学する人より常住する市町村内で従業（通勤又は自宅から従業）・通学する人の割合が高くなっています。

この統計は [令和2年国勢調査]

1-11 / 1-12 / 1-13

他市町村への通勤・通学者割合
▶▶ 1位 松田町

指標 2020年10月1日現在、常住地以外の市町村へ通勤・通学する人の割合が最も高いのは松田町で41.53%、最も低いのは箱根町で11.44%です。松田町を含む21市町村では、常住する市町村内で通勤・通学する人より、他市町村に通勤・通学する人の割合が高くなっています。

県内の他市町村へ通勤・通学する人の割合が最も高いのは大井町で36.33%です。一方、県外へ通勤・通学する人の割合が最も高いのは川崎市で27.16%です。

他市町村へ通勤・通学する人の内訳をみると、3政令指定都市は県内の他市町村へ通勤・通学する人よりも県外へ通勤・通学する人の割合が高くなっています。政令指定都市を除く30市町村では、県外へ通勤・通学する人よりも県内の他市町村へ通勤・通学する人の割合が高くなっています。

県全体としては、県外への通勤・通学者が全国1位となっており、人口の1割を超えています。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 通勤者・通学者

「通勤者」とは、従業の場所が常住の場所（自宅）と異なる就業者をいいます。「通学者」とは、調査週間中、学校に通っていた者をいいます。この場合の学校には、幼稚園や認定こども園は含まれません。

なお、割合の算出方法については、7ページの注釈を参照してください。

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日: 令和3年11月30日～順次公表
公表周期: 5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

1-14 / 1-15 / 1-16

他市町村からの通勤・通学者数
▶▶ 1位 横浜市

指標 2020年10月1日現在、他市町村からの通勤・通学者数（流入人口）が最も多いのは横浜市で41万1548人、最も少ないのは真鶴町で565人です。

各市町村への他市町村からの通勤・通学者数の内訳をみると、県内他市町村からの通勤・通学者の割合が最も高いのは二宮町で98.46%です。一方、県外からの通勤・通学者の割合が最も高いのは相模原市で、44.47%です。

県内の全ての市町村で、県外からの通勤・通学者よりも、県内からの通勤・通学者の割合が高くなっています。

この統計は [令和2年国勢調査]

「従業も通学もしていない」者の割合

2020年10月1日現在、神奈川県内の常住人口のうち、従業地・通学地「不詳」を除いた人口に占める従業地・通学地別の人口の割合をみると、「従業も通学もしていない」が35.83%です。

県内33市町村のうち、21市町村で「従業も通学もしていない」割合が一番高くなっています。「自市町村で通勤・通学」の割合が一番高い市町村は、横浜市、相模原市、小田原市、厚木市、箱根町の5市町村、「他市町村への通勤・通学」の割合が一番高い市町村は、川崎市、大和市、海老名市、座間市、大井町、松田町、開成町の7市町村です。

令和2年国勢調査 従業地・通学地の表章区分

常住地による人口(夜間人口) (a)	当該地域に常住している人口 (a)=(b)+(c)+(f)+(k)
従業も通学もしていない (b)	労働力状態が「完全失業者」「家事」「その他」の者
自市区町村で従業・通学 (c)	従業地が「自宅」または従業地・通学地が「同じ区・市町村」の者 (c)=(d)+(e)
自宅から従業 (d)	従業地が「自宅」の者
自宅外の自市区町村で従業・通学 (e)	従業地・通学地が「同じ区・市町村」の者
他市区町村で従業・通学 (f)	従業地・通学地が「他の区・市町村」の者 (f)=(g)+(h)+(i)+(j)
自市内他区で従業・通学 (g)	21大都市の常住者のうち、通勤・通学の場所が常住地と同じ市内の他区の者
県内他市町村で従業・通学 (h)	通勤・通学の場所が常住地と同じ都道府県内の他市町村の者
他県で従業・通学 (i)	通勤・通学の場所が常住地と別の都道府県の者
従業・通学市区町村「不詳・外国」 (j)	従業地・通学地が「他の区・市町村」で、通勤・通学の場所(市区町村)が不詳及び外国の者
従業地・通学地「不詳」 (k)	従業地・通学地が不詳の者(労働力状態が「不詳」の者を含む)

*21大都市とは、政令指定都市及び東京都特別区部をいいます。

市町村・地域名	自市町村内での 従業・通学者割合		他市町村への 通勤・通学者割合		うち 県内他市町村		うち 神奈川県外		他市町村からの 通勤・通学者数		うち 県内他市町村		うち 神奈川県外	
	2020年 1-10		2020年 1-11		2020年 1-12		2020年 1-13		2020年 1-14		2020年 1-15		2020年 1-16	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	36.67		27.50		13.13		14.37		1,309,636		75.75		24.25	
横浜市	41.85	2	22.57	31	7.17	33	15.39	2	411,548	1	67.94	30	32.06	4
川崎市	32.79	11	35.39	11	8.24	32	27.16	1	232,534	2	57.40	32	42.60	2
相模原市	36.67	7	27.43	24	12.17	30	15.26	3	79,539	4	55.53	33	44.47	1
横須賀市	39.34	5	20.02	32	15.19	28	4.83	23	36,852	9	91.84	19	8.16	15
平塚市	37.34	6	24.53	27	19.33	25	5.20	19	47,811	6	89.71	24	10.29	10
鎌倉市	27.86	19	32.95	18	20.12	24	12.83	4	43,952	7	94.91	14	5.09	20
藤沢市	33.55	9	30.57	22	21.24	23	9.33	9	81,515	3	90.55	21	9.45	13
小田原市	39.89	4	23.40	29	18.51	26	4.89	22	32,381	11	91.49	20	8.51	14
茅ヶ崎市	28.40	16	33.95	15	24.93	20	9.01	11	22,579	14	93.99	15	6.01	19
逗子市	21.65	28	38.27	5	25.69	17	12.57	5	8,521	19	97.81	2	2.19	32
三浦市	31.72	13	26.06	26	22.94	21	3.11	29	4,488	24	96.59	8	3.41	26
秦野市	33.51	10	27.17	25	22.42	22	4.75	24	18,212	16	90.52	22	9.48	12
厚木市	41.27	3	22.63	30	17.31	27	5.32	18	78,077	5	87.37	27	12.63	7
大和市	26.23	22	37.06	9	25.20	18	11.86	6	37,251	8	88.82	26	11.18	8
伊勢原市	31.08	14	33.34	17	27.98	14	5.36	16	23,907	12	93.02	16	6.98	18
海老名市	25.86	23	37.15	8	29.16	10	7.99	12	34,671	10	91.91	18	8.09	16
座間市	23.87	26	38.91	4	28.44	13	10.47	7	23,481	13	90.26	23	9.74	11
南足柄市	27.47	20	32.61	19	29.39	9	3.22	28	7,536	20	95.83	11	4.17	23
綾瀬市	28.21	17	33.96	14	28.80	11	5.16	21	19,734	15	95.62	13	4.38	21
葉山町	24.87	24	36.29	10	25.94	16	10.35	8	3,098	28	96.42	9	3.58	25
寒川町	29.55	15	33.97	13	30.43	7	3.54	27	11,888	17	97.32	5	2.68	29
大磯町	21.22	30	37.89	6	30.83	6	7.07	13	4,366	25	97.43	4	2.57	30
二宮町	19.98	33	37.83	7	31.47	4	6.36	15	2,853	30	98.46	1	1.54	33
中井町	27.26	21	34.12	12	31.05	5	3.07	30	5,680	22	96.88	6	3.12	28
大井町	24.03	25	40.29	3	36.33	1	3.95	25	3,837	26	97.47	3	2.53	31
松田町	20.47	32	41.53	1	36.17	2	5.35	17	3,596	27	96.11	10	3.89	24
山北町	28.05	18	32.42	20	28.61	12	3.81	26	2,971	29	89.13	25	10.87	9
開成町	23.03	27	40.98	2	35.83	3	5.16	20	4,640	23	95.69	12	4.31	22
箱根町	57.60	1	11.44	33	9.04	31	2.40	32	7,082	21	75.23	29	24.77	5
真鶴町	20.68	31	33.75	16	27.00	15	6.75	14	565	33	83.36	28	16.64	6
湯河原町	31.93	12	24.30	28	15.11	29	9.19	10	2,445	31	62.49	31	37.51	3
愛川町	35.76	8	28.15	23	25.14	19	3.00	31	11,241	18	92.56	17	7.44	17
清川村	21.52	29	31.89	21	29.67	8	2.22	33	785	32	96.69	7	3.31	27

横浜地域	41.85	1	22.57	6	7.17	6	15.39	2	411,548	1	67.94	5	32.06	2
川崎地域	32.79	5	35.39	1	8.24	5	27.16	1	232,534	3	57.40	6	42.60	1
横須賀三浦地域	33.89	3	25.86	5	18.26	4	7.60	4	96,911	5	94.12	1	5.88	6
県央地域	33.35	4	30.27	3	18.91	3	11.36	3	284,779	2	80.26	4	19.74	3
湘南地域	32.35	6	30.31	2	23.06	1	7.24	5	213,131	4	91.63	2	8.37	5
県西地域	34.65	2	27.62	4	22.79	2	4.83	6	70,733	6	90.43	3	9.57	4

1-10~1-16 令和2年国勢調査

注釈

1-10~1-16

1)2020年10月1日現在の値。

1-10~1-13

1)従業地・通学地「不詳」を除いた人口に占める割合。

1-10

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(d)、(e)、(g)の割合を合計したもの。

1-11

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(f)の割合から(g)の割合を除いたもの。

1-12

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(h)の割合。

1-13

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(i)の割合。

1-14

1)他市町村から当該市町村へ通勤・通学している人口(流入人口)。

2)神奈川県の値は、各市町村の計。

1-15

1)1-14のうち、県内他市町村からの通勤・通学者の割合。ただし、神奈川県及び地域別の数値は各市町村の計から算出している。

1-16

1)1-14のうち、県外からの通勤・通学者の割合。ただし、神奈川県及び地域別の数値は各市町村の計から算出している。

1 人口・自然

外国人数 ▶▶ 1位 横浜市

1-17

指標 2024年1月1日現在の神奈川県外国人数は26万163人です。県民の35人に1人が外国籍県民となっています。

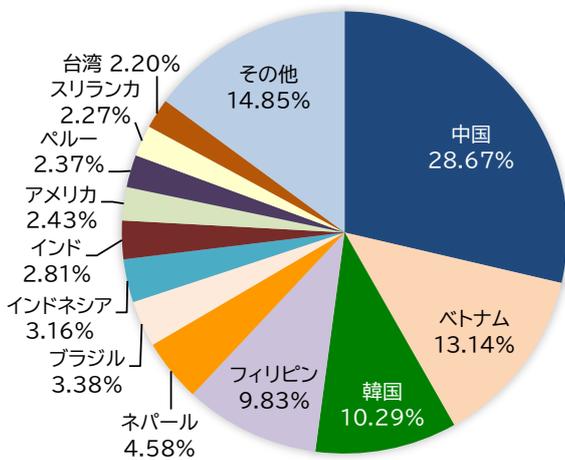
県内市町村で外国人数が最も多いのは横浜市で11万5954人、最も少ないのは清川村で64人です。

この統計は [県内外国人統計]

用語 外国人

県内外国人統計においては、県内市区町村の住民基本台帳に登録されている外国人数を集計しています。

県内外国人の国・地域別構成比 (2024年1月1日現在)



この統計は [県内外国人統計]

生産年齢人口割合 ▶▶ 1位 川崎市

1-18

指標 2024年1月1日現在の神奈川県生産年齢人口割合は62.70%です。

県内市町村で生産年齢人口割合が最も高いのは川崎市で67.60%、最も低いのは真鶴町で47.70%です。

この統計は [神奈川県年齢別人口統計調査]

用語 生産年齢人口

国内の生産活動を中心になって支える15～64歳の人口のこと。

統計情報 県内外国人統計

県内外国人統計(2024(令和6)年1月1日現在)
[県文化スポーツ観光局国際課]
公表日:令和6年3月28日 公表周期:毎年
2024(令和6)年1月1日現在の住民基本台帳上の外国人
数について、県内市町村に対して調査した結果を集計した
ものです。

年少人口割合 ▶▶ 1位 開成町

1-19

指標 2024年1月1日現在の神奈川県の年少人口割合は11.39%です。

県内市町村で年少人口割合が最も高いのは開成町で14.24%、最も低いのは箱根町で5.40%です。

この統計は [神奈川県年齢別人口統計調査]

用語 年少人口

14歳以下の人口のこと。

老年人口割合 ▶▶ 1位 真鶴町

1-20

指標 2024年1月1日現在の神奈川県の老年人口割合は25.91%です。

県内市町村で老年人口割合が最も高いのは真鶴町で46.00%、最も低いのは川崎市で20.44%です。

この統計は [神奈川県年齢別人口統計調査]

用語 老年人口

65歳以上の人口のこと。

100歳以上人口数(人口10万人当たり) ▶▶ 1位 湯河原町

1-21

指標 2020年10月1日現在の神奈川県の人口10万人当たりの100歳以上の人口は49.95人です。

県内市町村で人口10万人当たりの100歳以上の人口が最も多いのは湯河原町で138.86人、次いで中井町で133.82人です。

この統計は [令和2年国勢調査]

統計情報 神奈川県年齢別人口統計調査

神奈川県年齢別人口統計調査(令和6年1月1日現在) [県統計センター]
公表日:令和6年7月31日 公表周期:毎年
5年ごとの国勢調査の調査票情報を独自集計した年齢別人口を基礎とし、
市町村長の報告に基づく住民基本台帳法及び戸籍法に定める出生、
死亡、転入、転出の年齢別異動人口を加減して毎年1月1日現在の年齢別
人口を算出し、県でとりまとめたものです。

市町村・地域名	外国人数		生産年齢人口割合		年少人口割合		老年人口割合		100歳以上人口数 (人口10万人当たり)	
	2024年		2024年		2024年		2024年		2020年	
	1-17 値	順位	1-18 値	順位	1-19 値	順位	1-20 値	順位	1-21 値	順位
神奈川県	260,163		62.70		11.39		25.91		49.95	
横浜市	115,954	1	63.23	3	11.40	10	25.37	29	48.20	21
川崎市	50,794	2	67.60	1	11.96	9	20.44	33	42.91	24
相模原市	18,708	3	62.14	8	11.00	13	26.86	25	44.00	22
横須賀市	6,830	7	57.38	20	9.77	25	32.84	12	62.98	10
平塚市	5,880	8	59.93	11	10.83	17	29.24	20	62.49	11
鎌倉市	1,807	17	58.32	18	10.80	18	30.87	18	104.32	6
藤沢市	8,034	6	62.41	5	12.74	2	24.85	31	57.64	14
小田原市	3,214	15	58.28	19	10.55	20	31.17	17	55.03	17
茅ヶ崎市	2,362	16	60.41	10	12.40	5	27.19	23	50.24	20
逗子市	603	21	56.75	21	11.11	12	32.13	14	68.42	9
三浦市	448	23	50.37	30	7.68	30	41.95	4	112.86	4
秦野市	4,428	10	58.43	17	10.20	21	31.37	16	43.96	23
厚木市	9,369	4	62.44	4	10.98	15	26.58	28	37.00	27
大和市	8,045	5	63.57	2	12.17	8	24.26	32	37.13	26
伊勢原市	3,229	14	62.03	9	10.94	16	27.04	24	57.33	15
海老名市	3,372	13	62.27	7	12.65	3	25.08	30	30.27	30
座間市	3,717	11	62.34	6	10.99	14	26.67	26	38.80	25
南足柄市	619	20	55.82	23	9.93	22	34.25	11	62.05	13
綾瀬市	4,688	9	59.79	12	12.34	6	27.86	21	34.06	29
葉山町	292	25	55.40	24	12.25	7	32.35	13	115.66	3
寒川町	1,200	18	59.69	13	12.48	4	27.84	22	53.11	18
大磯町	217	27	54.33	26	10.79	19	34.87	10	57.17	16
二宮町	271	26	54.04	27	9.79	24	36.17	8	62.32	12
中井町	401	24	53.45	28	8.21	27	38.34	7	133.82	2
大井町	179	29	59.20	14	11.40	11	29.40	19	71.02	8
松田町	157	30	55.20	25	9.40	26	35.40	9	28.14	31
山北町	130	31	49.77	31	8.05	29	42.18	3	51.61	19
開成町	181	28	59.10	15	14.24	1	26.67	27	93.66	7
箱根町	964	19	56.16	22	5.40	33	38.44	6	111.44	5
真鶴町	78	32	47.70	33	6.31	32	46.00	1	-	-
湯河原町	536	22	49.13	32	6.63	31	44.24	2	138.86	1
愛川町	3,392	12	58.53	16	9.84	23	31.63	15	35.49	28
清川村	64	33	52.23	29	8.10	28	39.67	5	-	-

横浜地域	115,954	1	63.23	2	11.40	3	25.37	5	48.20	4
川崎地域	50,794	3	67.60	1	11.96	1	20.44	6	42.91	5
横須賀三浦地域	9,980	5	57.06	5	10.13	5	32.81	2	79.22	1
県央地域	51,355	2	62.20	3	11.36	4	26.45	4	39.52	6
湘南地域	25,621	4	60.57	4	11.74	2	27.70	3	55.42	3
県西地域	6,459	6	56.72	6	10.05	6	33.23	1	66.63	2

1-17 県内外国人統計、1-18~1-20 神奈川県年齢別人口統計調査、1-21 令和2年国勢調査

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日:令和3年11月30日~順次公表
公表周期:5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

注釈

- 1-17
1)2024年1月1日現在の住民基本台帳上の外国人数。
1-18~1-20
1)2024年1月1日現在の値。
2)割合は分母(人口総数)から年齢不詳を除いて算出している。
1-21
1)2020年10月1日現在の値。
2)令和2年国勢調査をもとに、県統計センター算出。

一般世帯数 ▶▶▶ 1位 横浜市 1-22

指標 2020年10月1日現在の神奈川県的一般世帯数は421万122世帯です。

県内市町村で一般世帯数が最も多いのは横浜市で174万4208世帯、最も少ないのは清川村で1124世帯です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 世帯、一般世帯

本ページは国勢調査の区分によります。詳細は右ページ注釈を参照してください。国勢調査では世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分しています。このページで掲載する内容は、一般世帯の内訳項目です。

1世帯当たり人員(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 中井町 1-23

指標 2020年10月1日現在の神奈川県の1世帯当たり人員は2.15人です。

県内市町村で1世帯当たり人員が最も多いのは中井町で2.58人、最も少ないのは箱根町で1.69人です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 1世帯当たり人員

1世帯当たり人員(一般世帯の平均人数)

$$= \text{一般世帯人員} / \text{一般世帯数}$$

単独世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 箱根町 1-24

指標 2020年10月1日現在の神奈川県の単独世帯割合は39.21%です。

県内市町村で単独世帯割合が最も高いのは箱根町で60.38%、最も低いのは中井町で22.69%です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 単独世帯

単独世帯とは、世帯人員が1人の世帯のことです。

$$\text{単独世帯割合} = \text{単独世帯数} / \text{一般世帯数} * 100$$

 *この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
 公表日:令和3年11月30日~順次公表
 公表周期:5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

核家族世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 葉山町 1-25

指標 2020年10月1日現在の神奈川県の単独世帯割合は55.83%です。

県内市町村で核家族世帯割合が最も高いのは葉山町で68.47%、最も低いのは箱根町で32.69%です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 核家族世帯、核家族世帯割合

核家族世帯とは一般世帯のうち次のものを示します。

- (1) 夫婦のみの世帯
- (2) 夫婦と子供から成る世帯
- (3) 男親と子供から成る世帯
- (4) 女親と子供から成る世帯

$$\text{核家族世帯割合} = \text{核家族世帯数} / \text{一般世帯数} * 100$$

 *この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

65歳以上の単独世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 湯河原町 1-26

指標 2020年10月1日現在の神奈川県の65歳以上の単独世帯割合は10.92%で、10世帯に1世帯は65歳以上の単独世帯となっています。

県内市町村で65歳以上の単独世帯割合が最も高いのは湯河原町で21.37%、最も低いのは開成町で8.74%です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 65歳以上の単独世帯

65歳以上の一人のみの一般世帯をいいます。

$$\text{65歳以上の単独世帯割合} = \text{65歳以上の単独世帯数} / \text{一般世帯数} * 100$$

 *この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 清川村 1-27

指標 2020年10月1日現在の神奈川県の夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合は10.94%で、10世帯に1世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯となっています。

県内市町村で夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合が最も高いのは清川村で18.95%、最も低いのは川崎市で7.49%です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯

夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯をいいます。

$$\text{夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合} = \text{夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯数} / \text{一般世帯数} * 100$$

 *この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

市町村・地域名	一般世帯数		1世帯当たり人員 (対一般世帯)		単独世帯割合 (対一般世帯)		核家族世帯割合 (対一般世帯)		65歳以上の 単独世帯割合 (対一般世帯)		夫65歳以上、 妻60歳以上の 夫婦のみの世帯 割合(対一般世帯)	
	2020年	1-22	2020年	1-23	2020年	1-24	2020年	1-25	2020年	1-26	2020年	1-27
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	4,210,122		2.15		39.21		55.83		10.92		10.94	
横浜市	1,744,208	1	2.13	30	40.09	4	55.70	27	11.16	19	10.68	30
川崎市	745,988	2	2.03	32	45.67	2	50.06	32	8.86	32	7.49	33
相模原市	332,249	3	2.14	28	39.93	5	54.78	29	10.06	26	11.24	29
横須賀市	165,101	5	2.25	21	32.70	14	61.01	15	15.15	6	15.03	12
平塚市	112,002	6	2.26	19	35.26	11	57.93	22	11.51	17	12.31	24
鎌倉市	75,607	11	2.24	22	32.08	17	62.62	12	13.80	11	15.00	13
藤沢市	192,960	4	2.23	24	36.24	10	59.08	17	10.80	23	11.33	27
小田原市	81,622	10	2.26	18	34.74	13	57.00	23	12.91	14	12.66	22
茅ヶ崎市	102,364	8	2.33	14	30.32	21	64.47	6	11.48	18	13.51	19
逗子市	24,837	17	2.27	17	30.24	22	63.99	7	14.87	8	15.63	11
三浦市	17,153	19	2.33	13	29.59	24	59.75	16	17.12	3	17.53	7
秦野市	70,325	12	2.25	20	35.07	12	58.17	21	10.85	21	14.30	15
厚木市	100,132	9	2.19	26	38.73	6	55.63	28	9.66	29	11.79	26
大和市	110,397	7	2.13	29	40.72	3	54.08	30	10.58	24	9.82	32
伊勢原市	45,286	15	2.20	25	38.03	8	55.98	26	9.98	27	11.84	25
海老名市	58,225	14	2.30	16	32.43	16	62.53	13	9.47	31	12.63	23
座間市	60,153	13	2.17	27	37.72	9	56.91	24	11.03	20	11.24	28
南足柄市	16,241	21	2.46	5	25.92	28	63.85	8	12.38	15	16.75	9
綾瀬市	34,760	16	2.37	10	30.78	19	62.93	9	10.84	22	13.58	18
葉山町	12,913	22	2.41	8	25.25	29	68.47	1	13.34	12	16.95	8
寒川町	19,827	18	2.40	9	29.75	23	62.76	11	10.37	25	13.15	20
大磯町	12,675	23	2.44	6	24.02	32	67.48	2	13.25	13	18.32	2
二宮町	11,530	24	2.34	12	27.46	25	65.37	5	14.61	9	18.10	4
中井町	3,425	31	2.58	1	22.69	33	61.93	14	9.69	28	18.04	5
大井町	6,653	27	2.53	3	25.99	27	62.83	10	9.56	30	13.84	16
松田町	4,567	29	2.35	11	32.03	18	56.78	25	14.23	10	13.60	17
山北町	3,843	30	2.48	4	26.05	26	58.96	18	15.61	5	18.24	3
開成町	6,924	26	2.57	2	24.19	31	67.19	3	8.74	33	12.80	21
箱根町	6,348	28	1.69	33	60.38	1	32.69	33	16.27	4	10.62	31
真鶴町	2,959	32	2.23	23	30.69	20	58.87	19	20.04	2	17.71	6
湯河原町	10,662	25	2.09	31	38.48	7	52.95	31	21.37	1	16.53	10
愛川町	17,062	20	2.31	15	32.43	15	58.32	20	11.59	16	14.34	14
清川村	1,124	33	2.44	7	24.56	30	65.93	4	15.12	7	18.95	1

横浜地域	1,744,208	1	2.13	5	40.09	2	55.70	5	11.16	3	10.68	5
川崎地域	745,988	2	2.03	6	45.67	1	50.06	6	8.86	6	7.49	6
横須賀三浦地域	295,611	5	2.26	3	31.83	6	61.92	1	14.82	1	15.30	1
県央地域	714,102	3	2.18	4	38.44	3	56.10	4	10.20	5	11.41	4
湘南地域	566,969	4	2.27	2	34.30	4	59.91	2	11.12	4	12.68	3
県西地域	143,244	6	2.29	1	33.55	5	57.36	3	13.46	2	13.80	2

1-22~1-27 令和2年国勢調査

注釈

1-22~1-27

1)2020年10月1日現在の値。

1-23~1-27

1)令和2年国勢調査をもとに、県統計センター算出。

国勢調査における世帯の種類は次のとおり「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分される。

一般世帯

ア) 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。

ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めている。

イ) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者。

ウ) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者。

施設等の世帯

(1)寮・寄宿舎の学生・生徒(学校の寮・寄宿舎で起居を共にし、通学している学生・生徒の集まり)

(2)病院・療養所の入院者(病院・療養所などに、すでに3か月以上入院している入院患者の集まり)

(3)社会施設の入所者(老人ホーム、児童保護施設などの入所者の集まり)

(4)自衛隊営舎内居住者(自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者の集まり)

(5)矯正施設の入所者(刑務所及び拘留所の被収容者並びに少年院及び婦人補導院の在院者の集まり)

(6)その他(定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠(住所)を有しない船舶乗組員など)

なお、世帯の単位は、原則として上記(1)~(3)は棟ごと、(4)は中隊又は艦船ごと、(5)は建物ごと、(6)は一人一人である。

1 人口・自然

1-28 / 1-29

面積 ▶▶▶ 1位 横浜市
面積割合 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2022年10月1日現在の神奈川県のアreas面積は2416.32km²です。

県内市町村で面積が最も大きいのは横浜市で438.01km²、最も小さいのは開成町で6.55km²です。横浜市が神奈川県のアreasの18.13%を占めているのに対し、開成町は0.27%となっています。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版)]
[全国都道府県市区町村別面積調]

1-30 / 1-31

可住地面積 ▶▶▶ 1位 横浜市
可住地面積割合 ▶▶▶ 1位 開成町

指標 2022年の神奈川県のアreas可住地面積は1474.05km²です。

県内市町村で可住地面積が最も大きいのは横浜市で401.39km²、最も小さいのは真鶴町で3.52km²です。

神奈川県のアreas可住地面積割合は61.00%です。

県内市町村で可住地面積割合が最も高いのは開成町で100%、最も低いのは清川村で10.74%です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版)]

用語 可住地面積

可住地面積とは、各市町村のアreas面積から林野面積と主要湖沼面積を除いたものです。なお、神奈川県のアreas主要湖沼は芦ノ湖(7.03km²)です。

可住地面積割合 = 可住地面積 / 県・各市町村のアreas面積

1-32 / 1-33

林野面積 ▶▶▶ 1位 山北町
林野面積割合 ▶▶▶ 1位 清川村

指標 2020年2月1日現在の神奈川県のアreas林野面積は935.24km²です。

県内市町村で林野面積が最も大きいのは山北町で198.19km²です。一方、開成町は林野面積がありません。

神奈川県のアreas林野面積割合は38.71%で、県内市町村で林野面積割合が最も高いのは清川村で89.26%です。

県内市町村のうち、10市町村で林野面積割合が50%を超える一方、11市町村で林野面積割合が10%未満となっています。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版)]
[2020年農林業センサス]

用語 林野面積

林野面積とは、現況森林面積と森林以外の草生地の面積を合わせたものをいいます。

林野面積割合 = 林野面積 / 県・各市町村のアreas面積

神奈川県のアreas気象 (2023年)

*「夏日」は最高気温が25℃以上、冬日は最低気温が0℃未満であった日数を示しています。

	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	夏日 (日)	冬日 (日)	平均風速 (m/s)	日照時間 (h)	年間降水量 (mm)
海老名	17.1	37.4	-7.0	139	32	2.0	2288.4	1568.5
横浜	18.0	37.3	-2.1	136	2	3.6	2410.0	1377.0
辻堂	17.7	36.3	-3.7	128	10	3.1	2427.3	1282.5
小田原	17.1	38.0	-5.2	142	32	1.7	2308.4	1689.5
三浦	17.7	35.2	-2.4	119	4	3.6	2533.2	1303.0

この統計は [令和5年(2023年)神奈川県のアreas気象概況]

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)
[県統計センター]
公表日:令和6年3月 公表周期:毎年
神奈川県のアreas土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

統計情報 全国都道府県市区町村面積調

全国都道府県市区町村面積調(令和4年10月1日)
[国土交通省国土地理院]
公表日:令和4年12月19日 公表周期:毎年
測量法第12条の基本測量に関する長期計画に基づき国土地理院が毎年実施する国土面積の調査です。

統計情報 神奈川県のアreas気象概況

令和5年(2023年)神奈川県のアreas気象概況
[横浜地方気象台]
公表日:令和6年2月21日 公表周期:毎年
横浜地方気象台及び神奈川県内アreasの地域気象観測所(アメダス)のデータをまとめたものです。年の概況のほか、月の概況を毎月公表しています。

市町村・地域名	面積		面積割合		可住地面積		可住地面積割合		林野面積		林野面積割合	
	2022年	1-28	2022年	1-29	2022年	1-30	2022年	1-31	2020年	1-32	2020年	1-33
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	km ²		%		km ²		%		km ²		%	
神奈川県	2,416.32		100.00		1,474.05		61.00		935.24		38.71	
横浜市	438.01	1	18.13	1	401.39	1	91.64	11	36.62	8	8.36	23
川崎市	142.96	4	5.92	4	135.23	3	94.59	5	7.73	17	5.41	29
相模原市	328.91	2	13.61	2	140.97	2	42.86	27	187.94	2	57.14	7
横須賀市	100.81	7	4.17	7	71.91	4	71.33	16	28.90	10	28.67	18
平塚市	67.82	13	2.81	13	62.89	8	92.73	8	4.93	23	7.27	26
鎌倉市	39.66	16	1.64	16	26.87	12	67.75	18	12.79	15	32.25	16
藤沢市	69.56	12	2.88	12	63.95	7	91.94	10	5.61	21	8.06	24
小田原市	113.60	5	4.70	5	71.14	5	62.62	21	42.46	7	37.38	13
茅ヶ崎市	35.70	18	1.48	18	32.87	11	92.07	9	2.83	26	7.93	25
逗子市	17.28	26	0.72	26	10.97	25	63.48	20	6.31	19	36.52	14
三浦市	32.05	20	1.33	20	26.17	14	81.65	12	5.88	20	18.35	22
秦野市	103.76	6	4.29	6	49.74	9	47.94	26	54.02	5	52.06	8
厚木市	93.84	8	3.88	8	67.39	6	71.81	15	26.45	12	28.19	19
大和市	27.09	21	1.12	21	25.37	16	93.65	6	1.72	28	6.35	28
伊勢原市	55.56	14	2.30	14	34.45	10	62.01	22	21.11	13	37.99	12
海老名市	26.59	22	1.10	22	25.85	15	97.22	3	0.74	31	2.78	31
座間市	17.57	25	0.73	25	16.67	20	94.88	4	0.90	30	5.12	30
南足柄市	77.12	10	3.19	10	24.98	17	32.39	28	52.14	6	67.61	6
綾瀬市	22.14	23	0.92	23	20.58	18	92.95	7	1.56	29	7.05	27
葉山町	17.04	28	0.71	28	8.23	29	48.30	25	8.81	16	51.70	9
寒川町	13.34	30	0.55	30	13.10	23	98.20	2	0.24	32	1.80	32
大磯町	17.18	27	0.71	27	11.92	24	69.38	17	5.26	22	30.62	17
二宮町	9.08	31	0.38	31	7.34	31	80.84	13	1.74	27	19.16	21
中井町	19.99	24	0.83	24	13.47	22	67.38	19	6.52	18	32.62	15
大井町	14.38	29	0.60	29	10.89	26	75.73	14	3.49	25	24.27	20
松田町	37.75	17	1.56	17	9.15	28	24.24	30	28.60	11	75.76	3
山北町	224.61	3	9.30	3	26.42	13	11.76	32	198.19	1	88.24	2
開成町	6.55	33	0.27	33	6.55	32	100.00	1	-	-	-	-
箱根町	92.86	9	3.84	9	16.63	21	17.91	31	69.20	3	74.52	5
真鶴町	7.05	32	0.29	32	3.52	33	49.93	24	3.53	24	50.07	10
湯河原町	40.97	15	1.70	15	10.40	27	25.38	29	30.57	9	74.62	4
愛川町	34.28	19	1.42	19	19.42	19	56.65	23	14.86	14	43.35	11
清川村	71.24	11	2.95	11	7.65	30	10.74	33	63.59	4	89.26	1

横浜地域	438.01	3	18.13	3	401.39	1	91.64	2	36.62	5	8.36	5
川崎地域	142.96	6	5.92	6	135.23	6	94.59	1	7.73	6	5.41	6
横須賀三浦地域	206.84	5	8.56	5	144.15	5	69.69	4	62.69	4	30.31	3
県央地域	621.66	2	25.73	2	323.90	2	52.10	5	297.76	2	47.90	2
湘南地域	372.00	4	15.40	4	276.26	3	74.26	3	95.74	3	25.74	4
県西地域	634.88	1	26.27	1	193.15	4	30.42	6	434.70	1	68.47	1

1-28~1-33 県勢要覧2023(令和5年度版)

統計情報 農林業センサス

2020年農林業センサス[農林水産省]
公表日:令和3年6月30日~順次公開 公表周期:5年ごと
我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。

注釈

1-28,1-29

1)2022年10月1日現在の値。

2)面積は全国都道府県市区町村別面積調による。なお、平塚市、茅ヶ崎市、大磯町の数値は境界未定のため参考値である。

1-32,1-33

1)林野面積は、農林業センサス(農山村地域調査)(令和2年2月1日現在)による。



Q.1 横浜市の人口は、次のどの都道府県と同じくらい？
(2024年4月1日現在)

- A. ① 宮城県
② 静岡県
③ 熊本県

Q.2 県内市町村で人口増減率が最も高いのはどこ？(2023年)

- A. ① 川崎市
② 藤沢市
③ 大井町

Q.3 県内市町村で合計特殊出生率が最も高いのはどこ？
(2021年)

- A. ① 海老名市
② 寒川町
③ 開成町

Q.4 常住する市町村内で従業・通学する人の割合が最も高いのはどこ？
(2020年10月1日現在)

- A. ① 箱根町
② 横須賀市
③ 横浜市

Q.5 他市町村からの通勤・通学者数(流入人口)が最も多いのはどこ？(2020年10月1日現在)

- A. ① 湯河原町
② 横浜市
③ 相模原市

Q.6 県内市町村で生産年齢人口割合が最も高いのはどこ？
(2024年1月1日現在)

- A. ① 川崎市
② 茅ヶ崎市
③ 小田原市

Q.7 県内市町村で1世帯当たり人員が最も多いのはどこ？
(2020年10月1日現在)

- A. ① 平塚市
② 大磯町
③ 中井町

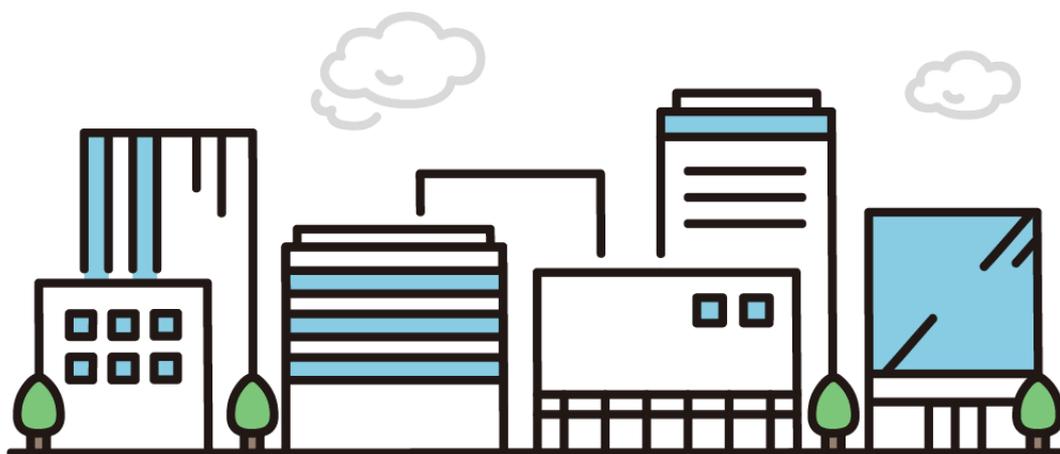
Q.8 県内市町村で林野面積が最も大きいのはどこ？
(2020年2月1日現在)

- A. ① 山北町
② 相模原市
③ 箱根町

答えは78ページ ▶

2

産業・労働



2-01 15歳以上就業者数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2020年10月1日現在の神奈川県に常住している15歳以上就業者数は489万5351人です。

県内市町村で15歳以上就業者数が最も多いのは横浜市で199万9392人、次いで川崎市が87万7394人、相模原市が38万33人です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 就業者

国勢調査における「就業者」とは、調査年の9月24日から30日までの1週間(以下「調査週間」という)に、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)を伴う仕事を少しでもした者をいいます。

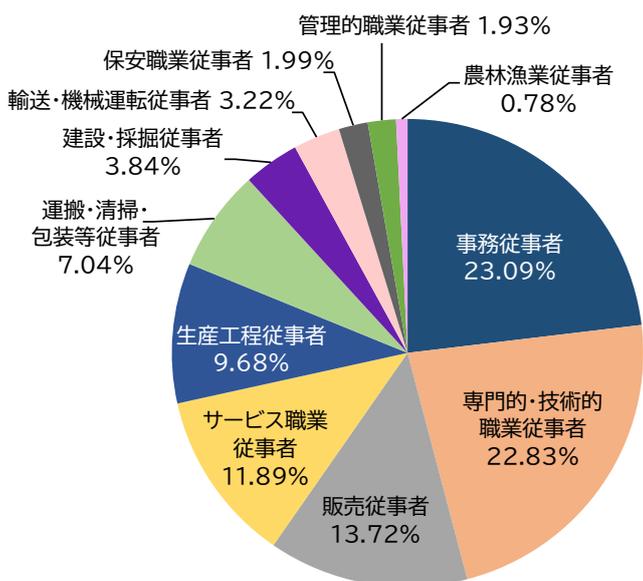
なお、収入を伴う仕事を持っていて、調査週間中、少しも仕事をしなかった人のうち、次のいずれかに該当する場合は就業者としています。

①勤めている人が、病気や休暇などで休んでいても、賃金や給料をもらうことになっている場合や、雇用保険法に基づく育児休業基本給付金や介護休業給付金をもらうことになっている場合

②事業を営んでいる人が、病気や休暇などで仕事を休み始めてから30日未満の場合

また、家族の人が自家営業(個人経営の農業や工場・店の仕事など)の手伝いをした場合は、無給であっても、収入を伴う仕事をしたこととして、就業者に含めています。

県内職業大分類別構成比(2020年10月1日現在)



※「L分類不能の職業」をあん分等によって補完した「不詳補完値」で構成比を算出している。

この統計は [令和2年国勢調査]

2-02 産業大分類別就業者構成比(常住地ベース) ▶▶▶ 1位 卸売業、小売業

指標 2020年10月1日現在の神奈川県に常住している就業者を産業大分類別にみると、卸売業、小売業に従事する人の構成比が最も高く、15.52%となっています。次いで製造業が13.49%、医療、福祉が12.37%となっています。

県内市町村別にみると、卸売業、小売業の就業者の割合が最も高いのは15市町村、製造業の就業者の割合が最も高いのは16市町村です。箱根町、湯河原町では宿泊業、飲食サービス業の就業者の割合が最も高くなっています。

県内地域別にみると、横浜、川崎、横須賀三浦地域では卸売業、小売業の割合が最も高くなっています。一方、県央、湘南、県西地域では、製造業の割合が最も高くなっています。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 産業、職業

国勢調査における「産業」とは、就業者について、調査週間中にその人が実際に仕事をしてきた事業所の主な事業の種類によって分類したものをいいます(調査週間中仕事を休んでいた人については、その人がふだん仕事をしている事業所の主な事業の種類)。

令和2年国勢調査に用いている産業分類は、日本標準産業分類(平成25年10月改定)を基に再編成したもので、20項目の大分類、82項目の中分類、253項目の小分類となっています。大分類の内訳は下記のとおりです。

令和2年国勢調査の産業大分類

第1次産業	A 農業、林業 B 漁業
第2次産業	C 鉱業、採石業、砂利採取業 D 建設業 E 製造業
第3次産業	F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業、郵便業 I 卸売業、小売業 J 金融業、保険業 K 不動産業、物品賃貸業 L 学術研究、専門・技術サービス業 M 宿泊業、飲食サービス業 N 生活関連サービス業、娯楽業 O 教育、学習支援業 P 医療、福祉 Q 複合サービス事業 R サービス業(他に分類されないもの) S 公務(他に分類されるものを除く)

※「T 分類不能の産業」は上記の3部門には含んでいません。

国勢調査における「職業」とは、就業者について、調査週間中、その人が実際に従事していた仕事の種類によって分類したものをいいます(調査週間中仕事を休んでいた人については、その人がふだん従事している仕事の種類)。

なお、従事した仕事が二つ以上ある場合、その人が主に従事した仕事の種類によります。

令和2年国勢調査に用いている職業分類は、日本標準職業分類(平成21年12月統計基準設定)を基に再編成したもので、12項目の大分類、57項目の中分類、232項目の小分類から成っています。

市町村・地域名	15歳以上 就業者数		産業大分類別就業者構成比(常住地ベース)					
	2020年 2-01		第1位		第2位		第3位	
	2020年	2-01	2020年	割合	2020年	割合	2020年	2-02
	値	順位	産業大分類	割合	産業大分類	割合	産業大分類	割合
	人			%		%		%
神奈川県	4,895,351		卸売、小売	15.52	製造業	13.49	医療、福祉	12.37
横浜市	1,999,392	1	卸売、小売	15.83	医療、福祉	12.47	製造業	11.66
川崎市	877,394	2	卸売、小売	14.86	情報通信業	12.25	製造業	11.87
相模原市	380,033	3	卸売、小売	15.55	製造業	15.45	医療、福祉	13.57
横須賀市	193,904	5	卸売、小売	14.62	医療、福祉	14.26	公務	10.09
平塚市	131,745	6	製造業	20.57	卸売、小売	15.80	医療、福祉	12.23
鎌倉市	86,351	11	卸売、小売	15.67	医療、福祉	13.24	製造業	11.59
藤沢市	225,772	4	卸売、小売	15.78	製造業	15.64	医療、福祉	13.28
小田原市	99,409	10	製造業	17.13	卸売、小売	16.39	医療、福祉	12.49
茅ヶ崎市	123,984	8	卸売、小売	16.80	製造業	14.84	医療、福祉	13.40
逗子市	27,187	17	卸売、小売	16.66	医療、福祉	13.47	製造業	8.85
三浦市	20,944	20	卸売、小売	16.21	医療、福祉	14.22	農業、林業	9.69
秦野市	79,388	12	製造業	21.50	卸売、小売	15.21	医療、福祉	13.17
厚木市	118,166	9	製造業	19.55	卸売、小売	14.51	医療、福祉	11.32
大和市	127,187	7	卸売、小売	16.87	製造業	14.34	医療、福祉	12.71
伊勢原市	54,019	15	製造業	19.53	卸売、小売	14.41	医療、福祉	13.95
海老名市	70,886	13	製造業	20.36	卸売、小売	14.18	医療、福祉	12.02
座間市	70,084	14	卸売、小売	16.32	製造業	15.55	医療、福祉	12.30
南足柄市	19,712	21	製造業	22.68	卸売、小売	13.58	医療、福祉	12.63
綾瀬市	43,156	16	製造業	20.93	卸売、小売	14.69	医療、福祉	10.40
葉山町	15,188	23	卸売、小売	16.64	医療、福祉	13.84	製造業	8.03
寒川町	25,313	18	製造業	24.24	卸売、小売	14.58	医療、福祉	10.95
大磯町	15,365	22	卸売、小売	16.51	製造業	13.86	医療、福祉	13.19
二宮町	13,109	24	卸売、小売	16.56	製造業	15.61	医療、福祉	13.96
中井町	4,539	31	製造業	20.69	卸売、小売	13.42	医療、福祉	11.15
大井町	9,004	27	製造業	19.05	卸売、小売	15.76	医療、福祉	12.11
松田町	5,684	29	製造業	18.23	卸売、小売	13.00	医療、福祉	12.51
山北町	5,011	30	製造業	18.60	卸売、小売	15.07	医療、福祉	11.59
開成町	9,284	26	製造業	21.51	卸売、小売	13.55	医療、福祉	12.34
箱根町	6,832	28	宿泊、飲食	49.22	卸売、小売	9.41	医療、福祉	6.18
真鶴町	3,203	32	卸売、小売	15.74	医療、福祉	13.02	宿泊、飲食	12.27
湯河原町	11,254	25	宿泊、飲食	17.09	医療、福祉	16.04	卸売、小売	15.19
愛川町	21,505	19	製造業	28.62	運輸、郵便	14.80	卸売、小売	11.99
清川村	1,347	33	製造業	16.56	医療、福祉	13.88	卸売、小売	11.80

横浜地域	1,999,392	1	卸売、小売	15.83	医療、福祉	12.47	製造業	11.66
川崎地域	877,394	2	卸売、小売	14.86	情報通信業	12.25	製造業	11.87
横須賀三浦地域	343,574	5	卸売、小売	15.23	医療、福祉	13.92	製造業	10.00
県央地域	832,364	3	製造業	16.92	卸売、小売	15.41	医療、福祉	12.59
湘南地域	668,695	4	製造業	17.76	卸売、小売	15.78	医療、福祉	13.06
県西地域	173,932	6	製造業	16.92	卸売、小売	15.30	医療、福祉	12.41

2-01~2-02 令和2年国勢調査

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日:令和3年11月30日~順次公表
公表周期:5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として
行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるす
べての人及び世帯を対象にしています。

注釈

2-01、2-02

1)2020年9月24日から30日までの1週間に仕事をしたかどうか
の別により区分したものの。

2-02

1)産業大分類については、一部名称を省略している。

2)「T分類不能の産業」をあん分等によって補充した「不詳補充値」で構
成比を算出している。

3)本指標は就業者の常住地別に集計したものである。一方、2-05は
事業所の所在地に基づいて集計したものであり、本指標と一致しない。

事業所数 ▶▶ 1位 横浜市

2-03

指標 2021年6月1日現在の神奈川県内の事業所数は28万9668事業所です。

県内市町村で事業所数が最も多いのは横浜市で11万7684事業所、次いで川崎市が4万1731事業所、相模原市が2万2055事業所です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

用語 事業所

経済センサス-活動調査における事業所とは、経済活動が行われている場所ごとの単位で、原則として次の要件を備えているものをいいます。

①一定の場所(1区画)を占めて、単一の経営主体のもとで経済活動が行われていること。

②従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること。

すなわち、事業所とは、一般に工場、製作所、事務所、営業所、商店、飲食店、旅館、娯楽場、学校、病院、役所、駅、鉱業所、農家等と呼ばれるものです。

従業者数 ▶▶ 1位 横浜市

2-04

指標 2021年6月1日現在の神奈川県内の事業所の従業者数は376万9519人です。

県内市町村で従業者数が最も多いのは横浜市で161万8721人、次いで川崎市が57万8007人、相模原市が26万3504人です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

用語 従業者

経済センサス-活動調査における従業者とは、調査日現在で、当該事業所に所属して働いている全ての人をいいます。したがって、他の会社などの別経営の事業所へ出向又は派遣している人も含まれます。一方、当該事業所で働いている人であっても、他の会社などの別経営の事業所から出向又は派遣されているなど、当該事業所から賃金・給与(現物給与を含む。)を支給されていない人は従業者に含めません。

なお、個人経営の事業所の家族従業者は、賃金・給与を支給されていなくても従業者としています。

統計情報 経済センサス-活動調査

令和3年経済センサス-活動調査 [総務省・経済産業省]
公表日:速報令和4年5月31日~順次公表 公表周期:5年ごと

経済センサスは、事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としています。

経済センサスは、事業所・企業の基本的構造を明らかにする「経済センサス-基礎調査」と、事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「経済センサス-活動調査」の二つから成り立っています。

産業大分類別従業者構成比(事業所ベース)

2-05

▶▶ 1位 卸売業、小売業

指標 2021年6月1日現在の神奈川県内の事業所に従事する従業者を産業大分類別にみると、卸売業、小売業に従事する人の構成比が最も高く、17.87%となっています。次いで医療、福祉が15.82%、製造業が11.62%となっています。

県内市町村別にみると、卸売業、小売業の従業者割合が最も高いのは13市町村、製造業の従業者割合が最も高いのは10市町村、医療、福祉の従業者割合が最も高いのは7市町村です。開成町では学術研究、専門・技術サービス業、箱根町と湯河原町では宿泊業、飲食サービス業の割合が最も高くなっています。

県内地域別にみると、横浜、川崎、県央、県西地域では卸売業、小売業の割合が最も高くなっています。横須賀三浦地域では医療、福祉、湘南地域では製造業の割合が最も高くなっています。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

事業所の産業分類

経済センサス-活動調査における事業所の産業分類は、事業所の売上(収入)金額や主な事業の種類(原則として2020年1年間の収入額又は販売額の最も多いもの)により、日本標準産業分類(平成25年10月改定)に基づき分類しています。

令和3年経済センサス-活動調査は大分類、中分類、小分類及び細分類から成る4段階構成であり、その構成は、大分類19、中分類97、小分類598、細分類742となっています。なお、日本標準産業分類の大分類のうち「T 分類不能の産業」は、令和3年経済センサス-活動調査では用いていません。

市町村・地域名	事業所数		従業者数		産業大分類別従業者構成比(事業所ベース)					
	2021年 2-03		2021年 2-04		2021年 第1位		2021年 第2位		2021年 第3位	
	値	順位	値	順位	産業大分類	割合	産業大分類	割合	産業大分類	割合
神奈川県	289,668		3,769,519		卸売、小売	17.87	医療、福祉	15.82	製造業	11.62
横浜市	117,684	1	1,618,721	1	卸売、小売	18.30	医療、福祉	15.93	サービス業	10.45
川崎市	41,731	2	578,007	2	卸売、小売	18.23	医療、福祉	15.70	製造業	11.86
相模原市	22,055	3	263,504	3	医療、福祉	18.28	卸売、小売	17.46	製造業	14.64
横須賀市	11,948	5	144,655	6	医療、福祉	17.74	卸売、小売	15.83	公務	10.36
平塚市	9,469	7	117,291	7	製造業	21.16	卸売、小売	17.60	医療、福祉	14.07
鎌倉市	7,237	9	71,968	10	卸売、小売	18.59	医療、福祉	17.82	宿泊、飲食	12.10
藤沢市	13,332	4	172,181	4	卸売、小売	17.76	医療、福祉	15.69	製造業	14.83
小田原市	7,675	8	88,542	8	卸売、小売	18.31	医療、福祉	14.78	製造業	12.18
茅ヶ崎市	6,396	11	62,386	12	医療、福祉	21.74	卸売、小売	19.39	製造業	11.59
逗子市	1,863	17	15,021	19	医療、福祉	25.30	卸売、小売	20.00	宿泊、飲食	9.79
三浦市	1,711	19	14,120	21	卸売、小売	24.58	医療、福祉	21.57	宿泊、飲食	13.51
秦野市	4,488	12	54,988	13	製造業	24.31	医療、福祉	18.45	卸売、小売	16.79
厚木市	9,634	6	158,655	5	製造業	15.23	卸売、小売	14.34	サービス業	12.79
大和市	7,050	10	80,065	9	卸売、小売	21.07	医療、福祉	18.76	サービス業	13.51
伊勢原市	3,492	14	42,858	15	卸売、小売	18.05	製造業	16.96	医療、福祉	16.41
海老名市	4,449	13	63,458	11	卸売、小売	19.16	医療、福祉	13.57	製造業	13.13
座間市	3,346	15	43,640	14	卸売、小売	21.08	製造業	17.97	医療、福祉	14.31
南足柄市	1,258	22	14,380	20	製造業	29.81	卸売、小売	14.84	医療、福祉	14.62
綾瀬市	2,837	16	38,200	16	製造業	33.13	卸売、小売	13.40	医療、福祉	9.31
葉山町	1,007	24	7,740	26	医療、福祉	18.98	卸売、小売	18.59	宿泊、飲食	13.53
寒川町	1,715	18	24,780	17	製造業	40.35	卸売、小売	12.37	サービス業	9.13
大磯町	995	25	8,046	24	卸売、小売	20.08	医療、福祉	18.33	宿泊、飲食	12.98
二宮町	918	26	6,256	29	医療、福祉	22.35	卸売、小売	21.39	教育、学習	10.12
中井町	482	30	7,762	25	製造業	38.25	卸売、小売	17.10	医療、福祉	9.96
大井町	682	27	6,954	28	卸売、小売	20.26	製造業	15.53	宿泊、飲食	10.48
松田町	531	29	4,053	31	医療、福祉	22.50	卸売、小売	9.60	製造業	9.18
山北町	453	31	4,693	30	製造業	40.23	卸売、小売	12.57	医療、福祉	9.27
開成町	671	28	7,595	27	学術研究等	17.41	医療、福祉	15.68	卸売、小売	15.44
箱根町	1,360	21	13,289	22	宿泊、飲食	53.68	卸売、小売	9.99	生活、娯楽	7.18
真鶴町	311	32	1,598	32	卸売、小売	18.77	宿泊、飲食	18.40	医療、福祉	10.83
湯河原町	1,162	23	8,877	23	宿泊、飲食	21.87	医療、福祉	21.46	卸売、小売	17.25
愛川町	1,582	20	23,700	18	製造業	31.16	運輸、郵便	24.53	卸売、小売	11.78
清川村	144	33	1,536	33	製造業	24.41	医療、福祉	19.01	建設業	9.96

横浜地域	117,684	1	1,618,721	1	卸売、小売	18.30	医療、福祉	15.93	サービス業	10.45
川崎地域	41,731	3	578,007	3	卸売、小売	18.23	医療、福祉	15.70	製造業	11.86
横須賀三浦地域	23,766	5	253,504	5	医療、福祉	18.46	卸売、小売	17.43	宿泊、飲食	9.82
県央地域	51,097	2	672,758	2	卸売、小売	17.08	製造業	16.37	医療、福祉	14.85
湘南地域	40,805	4	488,786	4	製造業	18.18	卸売、小売	17.66	医療、福祉	16.19
県西地域	14,585	6	157,743	6	卸売、小売	16.73	製造業	14.49	医療、福祉	13.86

2-03~2-05 令和3年経済センサス-活動調査

注釈

2-03~2-05

1)2021年6月1日現在の値。

2)民営事業所に加え、国、地方公共団体の事業所を含めた総数。

2-05

1)産業大分類については、一部名称を省略している。サービス業とは、「サービス業(他に分類されないもの)」をいう。

2)本指標は事業所の所在地別に集計したものである。一方、2-02は就業者の常住地別に集計したものであり、本指標と一致しない。

2-06 / 2-07

農業産出額(推計) ▶▶▶ 1位 横浜市

農業産出額(推計)品目別構成比 ▶▶▶ 1位 野菜

指標 2022年の神奈川県農業産出額は671億円です。県内市町村で農業産出額が最も大きいのは横浜市で121億2000万円で、次いで三浦市が98億2000万円です。地域別で見ると、農業産出額が最も大きいのは湘南地域で174億1000万円です。

神奈川県の農業産出額の品目別構成比をみると、構成比が最も高いのは野菜で51.71%です。

県内市町村別にみると、野菜の割合が最も高いのが17市町村、果実の割合が最も高いのが8市町村です。綾瀬市、愛川町では鶏、伊勢原市では乳用牛、葉山町では肉用牛、開成町では米、清川村では豚の割合が最も高くなっています。

県内地域別にみると、県西地域では果実の割合が最も高く、その他の地域では野菜の割合が最も高くなっています。

この統計は [令和4年市町村別農業産出額(推計)]
[令和4年生産農業所得統計]

用語 市町村別農業産出額(推計)

市町村別農業産出額(推計)は、当年の生産農業所得統計(都道府県別推計)において推計した都道府県別農業産出額を農林業センサス又は作物統計調査を用いて市町村別に按分して作成した加工統計です。

なお、農業産出額とは、農産物の生産量及び価格に関する諸統計等を用いて推計したもので、主に次式により推計しています。

農業産出額＝
(品目別生産数量×品目別農家庭先販売価格)の総和

統計情報 市町村別農業産出額(推計)

令和4年市町村別農業産出額(推計)[農林水産省]
公表日:令和6年3月14日 公表周期:毎年
市町村ごとの農業生産の実態を金額(産出額)で評価することにより明らかにし、農政の企画やその実行のフォローアップに資する資料を提供することを目的としています。

統計情報 生産農業所得統計

令和4年生産農業所得統計(確報)[農林水産省]
公表日:令和6年3月14日 公表周期:毎年
農産物の生産量及び価格に関する諸統計等を用いて、農業産出額及び生産農業所得を推計しています。

統計情報 農林水産関係市町村別統計

令和4年農林水産関係市町村別統計[農林水産省]
公表日:令和5年2月28日 公表周期:毎年
作物統計調査を実施する上で把握した地域における標本調査、現地見積りの結果、関係機関からの情報等を踏まえ、都道府県計値の内訳として市町村別に配分することにより作成した加工統計です。

2-08 / 2-09

耕地面積 ▶▶▶ 1位 横浜市

耕地率 ▶▶▶ 1位 三浦市

指標 2022年の神奈川県耕地面積は1.8万haで、耕地率は7.45%です。

県内市町村で耕地面積が最も大きいのは横浜市で2590ha、次いで小田原市が1740haです。

県内市町村で耕地率が最も高いのは三浦市で37.13%で、最も低いのは箱根町で0.06%です。

この統計は [令和4年農林水産関係市町村別統計]

用語 耕地面積、耕地率

耕地面積とは、田耕地面積と畑耕地面積の合計のことです。耕地とは農作物の栽培を目的とする土地のことをいい、けい畔を含みます。また、畑には樹園地及び牧草地を含みます。耕地率とは、各市町村の総面積のうち耕地面積が占める割合です。

2-10

林業経営体数 ▶▶▶ 1位 南足柄市

指標 2020年2月1日現在の神奈川県林業経営体数は139経営体です。

県内市町村で林業経営体数が最も多いのは南足柄市で23経営体、次いで相模原市で20経営体です。

この統計は [2020年農林業センサス]

用語 林業経営体

林産物の生産を行うか又は委託を受けて林業作業を行い、生産又は作業に係る面積等が一定規模以上の事業を行うものをいいます。

2-11

漁業経営体数 ▶▶▶ 1位 横須賀市

指標 2018年11月1日現在の神奈川県漁業経営体数は1005経営体です。

県内市町村で漁業経営体数が最も多いのは横須賀市で318経営体、次いで三浦市で264経営体です。

この統計は [2018年漁業センサス]

用語 漁業経営体

過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいいます。ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除きます。

統計情報 農林業センサス

2020年農林業センサス[農林水産省]
公表日:令和3年6月30日～順次公開 公表周期:5年ごと
我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。

市町村・地域名	農業産出額 (推計)		農業産出額(推計) 品目別構成比 第1位		耕地面積		耕地率		林業経営体数		漁業経営体数	
	2022年	2-06	2022年	2-07	2022年	2-08	2022年	2-09	2020年	2-10	2018年	2-11
	値	順位	品目	割合	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	6,710		野菜	51.71	18,000		7.45		139		1,005	
横浜市	1,212	1	野菜	61.06	2,590	1	5.91	21	12	5	155	3
川崎市	374	5	野菜	35.83	496	12	3.47	27	4	10	-	-
相模原市	318	7	野菜	41.51	1,430	3	4.35	25	20	2	-	-
横須賀市	318	7	野菜	90.25	508	11	5.04	22	-	-	318	1
平塚市	324	6	野菜	46.30	1,420	4	20.94	4	1	16	12	12
鎌倉市	36	24	野菜	83.33	96	28	2.42	28	3	12	47	4
藤沢市	581	3	野菜	36.66	856	9	12.31	11	3	12	22	9
小田原市	381	4	果実	46.46	1,740	2	15.32	9	9	7	42	5
茅ヶ崎市	162	14	野菜	74.69	314	15	8.80	17	1	16	16	11
逗子市	0	32	-	-	6	32	0.35	32	1	16	23	8
三浦市	982	2	野菜	97.66	1,190	5	37.13	1	-	-	264	2
秦野市	242	11	野菜	38.84	1,030	7	9.93	16	10	6	-	-
厚木市	173	13	野菜	36.42	1,030	7	10.98	14	13	3	-	-
大和市	52	22	野菜	75.00	190	24	7.01	20	1	16	-	-
伊勢原市	290	9	乳用牛	27.24	1,060	6	19.08	6	5	9	-	-
海老名市	150	15	野菜	64.67	492	13	18.50	7	1	16	-	-
座間市	25	26	野菜	52.00	199	23	11.33	13	-	-	-	-
南足柄市	98	16	果実	47.96	650	10	8.43	18	23	1	-	-
綾瀬市	257	10	鶏	56.42	229	20	10.34	15	1	16	-	-
葉山町	16	29	肉用牛	68.75	32	31	1.88	29	-	-	34	7
寒川町	65	19	野菜	49.23	218	21	16.34	8	-	-	-	-
大磯町	57	20	野菜	43.86	255	19	14.84	10	1	16	18	10
二宮町	20	28	果実	40.00	109	27	12.00	12	-	-	3	14
中井町	92	17	果実	35.87	404	14	20.21	5	-	-	-	-
大井町	54	21	野菜	48.15	313	16	21.77	3	2	14	-	-
松田町	14	30	果実	57.14	135	26	3.58	26	4	10	-	-
山北町	31	25	果実	58.06	279	17	1.24	30	13	3	-	-
開成町	22	27	米	54.55	183	25	27.94	2	-	-	-	-
箱根町	0	32	-	-	6	32	0.06	33	1	16	-	-
真鶴町	9	31	果実	88.89	34	30	4.82	24	-	-	39	6
湯河原町	46	23	果実	89.13	206	22	5.03	23	1	16	12	12
愛川町	222	12	鶏	86.04	274	18	7.99	19	2	14	-	-
清川村	76	18	豚	93.42	37	29	0.52	31	7	8	-	-

横浜地域	1,212	4	野菜	61.06	2,590	4	5.91	5	12	4	155	2
川崎地域	374	6	野菜	35.83	496	6	3.47	6	4	5	-	-
横須賀三浦地域	1,352	2	野菜	94.67	1,832	5	8.86	2	4	5	686	1
県央地域	1,273	3	野菜	32.29	3,881	3	6.24	3	45	2	-	-
湘南地域	1,741	1	野菜	40.95	5,262	1	14.15	1	21	3	71	4
県西地域	747	5	果実	46.59	3,950	2	6.22	4	53	1	93	3

2-06~2-07 市町村別農業産出額(推計)、2-08~2-09 農林水産関係市町村別統計、2-10 2020年農林業センサス、2-11 2018年漁業センサス

統計情報 漁業センサス

2018漁業センサス[農林水産省]
公表日:令和元年8月28日~順次公開
公表周期:5年ごと
我が国の漁業の生産構造、就業構造、漁村、水産物流通・加工業等の漁業をとりまく実態を把握し、我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的に、5年ごとに水産業を営んでいるすべての世帯や法人を対象に全国一斉の調査を実施しています。

注釈

- 2-06~2-07
1)神奈川県は生産農業所得統計から引用しており、必ずしも市町村計と一致しない。
2)逗子市、箱根町はすべての品目が0(表章単位未満)もしくは該当なしとなっており、順位をつけることができない。
3)各市町村で秘匿となっている品目は、順位をつけていない。
- 2-08~2-09
1)耕地の存在する市町村に計上した属地統計である。
2)耕地面積は四捨五入しており、必ずしも市町村値の計が県値と一致しない。
- 2-09
1)令和4年農林水産関係市町村別統計の耕地面積を1-28に掲載した市町村別面積で除したもの。
- 2-10
1)2020年2月1日現在の値。
- 2-11
1)2018年11月1日現在の値。

2-12 / 2-13

製造業製造品出荷額等 ▶▶ 1位 横浜市

製造業製造品出荷額等 産業中分類別構成比
▶▶ 1位 輸送用機械器具製造業

指標 2022年の神奈川県内の製造業製造品出荷額等は18兆2317億7796万円です。

神奈川県内の製造業製造品出荷額等の産業中分類別構成比をみると、構成比が最も高いのは輸送用機械器具製造業で20.73%、次いで石油製品・石炭製品製造業が14.29%となっています。

県内市町村で製造業製造品出荷額等が最も多いのは横浜市で4兆2956億7174万円、次いで川崎市が4兆1343億560万円、藤沢市が1兆7830億7165万円です。

県内地域別にみると、製造業製造品出荷額等が最も大きいのは湘南地域で4兆3158億9328万円です。

この統計は [2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)]

用語 製造品出荷額等

1月から12月までの1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、くず廃物の出荷額及びその他収入額(転売収入、修理料収入等)の合計であり、消費税、酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税を含んだ額をいいます。

政令指定都市の各区の製造業製造品出荷額等

市区	製造品出荷額等 (百万円)	市区	製造品出荷額等 (百万円)
横浜市		川崎市	
鶴見区	743,607	川崎区	3,304,774
神奈川区	281,976	幸区	167,883
西区	22,964	中原区	415,725
中区	73,663	高津区	133,013
南区	13,908	多摩区	43,227
保土ヶ谷区	33,870	宮前区	23,184
磯子区	1,443,129	麻生区	46,500
金沢区	436,655	相模原市	
港北区	227,384	緑区	347,392
戸塚区	188,532	中央区	691,538
港南区	7,387	南区	201,687
旭区	57,897		
緑区	112,488		
瀬谷区	41,347		
栄区	280,886		
泉区	26,023		
青葉区	22,344		
都筑区	281,614		

この統計は [2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)]

統計情報 経済構造実態調査(製造業事業所調査)

2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)[経済産業省]

公表日:令和6年7月26日 公表周期:毎年(経済センサス-活動調査実施年は除く)

経済構造実態調査は、全ての産業の付加価値等の構造を明らかにし、国民経済計算の精度向上等に資するとともに、経済センサス-活動調査の中間年における経済構造統計を作成することを目的とした調査です。2022年より工業統計調査(総務省・経済産業省)を「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」として実施しています。製造業事業所調査の対象は、日本標準産業分類に掲げる「大分類E-製造業」に属する事業所(国及び地方公共団体に属する事業所を除く)です。

2-14

製造業事業所数 ▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年6月1日現在の神奈川県内の製造業事業所数は9911事業所です。

県内市町村で製造業事業所数が最も多いのは横浜市で3315事業所、最も少ないのは箱根町、清川村で7事業所です。

この統計は [2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)]

用語 事業所

経済構造実態調査という事業所とは、経済活動が行われている場所ごとの単位で、原則として次の要件を備えているものをいいます。

- ①一定の場所(1区画)を占めて、単一の経営主体のもとで経済活動が行われていること。
- ②従業員と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること。

2-15

製造業従業者数 ▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年6月1日現在の神奈川県内の製造業従業者数は35万7750人です。

県内市町村で製造業従業者数が最も多いのは横浜市で9万1029人で、最も少ないのは箱根町で44人です。

県内地域別にみると、製造業従業者数が最も多いのは県央地域で9万8123人です。

この統計は [2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)]

用語 従業者

2023年6月1日現在で、当該事業所で働いている人をいいます。そのため、他の会社などの別経営の事業所から出向又は派遣されている人(受入者)は従業者に含まれます。一方、他の会社などの別経営の事業所へ出向又は派遣している人(送出者)、有期雇用者(1か月未満、日々雇用)は含まれません。

市町村・地域名	製造業製造品出荷額等		製造業製造品出荷額等 第1位		産業中分類別構成比 第2位		製造業事業所数		製造業従業者数	
	2022年	2-12	2022年		2022年	2-13	2023年	2-14	2023年	2-15
	値	順位	産業中分類	割合	産業中分類	割合	値	順位	値	順位
神奈川県	18,231,778		輸送用機器	20.73	石油	14.29	事業所 9,911		人 357,750	
横浜市	4,295,672	1	石油	28.85	食料	14.95	3,315	1	91,029	1
川崎市	4,134,306	2	石油	32.35	化学	21.47	1,495	2	50,062	2
相模原市	1,240,617	4	はん用機器	16.17	輸送用機器	12.75	1,043	3	36,183	3
横須賀市	755,258	6	輸送用機器	62.18	生産用機器	12.04	272	8	13,697	7
平塚市	1,042,125	5	輸送用機器	31.89	化学	17.58	425	5	19,002	6
鎌倉市	240,254	19	業務用機器	62.32	情報機器	11.78	98	18	6,614	15
藤沢市	1,783,072	3	輸送用機器	69.61	はん用機器	12.68	371	7	24,435	4
小田原市	552,409	8	化学	63.56	電子部品	10.44	258	10	10,081	9
茅ヶ崎市	338,083	13	生産用機器	51.60	非鉄金属	15.15	135	17	6,245	17
逗子市	1,612	31	食料	24.88	生産用機器	15.76	23	24	125	31
三浦市	23,856	23	食料	78.87	輸送用機器	12.22	46	21	574	23
秦野市	463,580	9	非鉄金属	19.94	電気機器	17.53	270	9	12,435	8
厚木市	672,834	7	輸送用機器	30.19	情報機器	11.70	427	4	21,193	5
大和市	308,626	14	輸送用機器	39.11	食料	12.41	257	11	8,943	11
伊勢原市	242,323	17	生産用機器	21.98	非鉄金属	14.05	164	13	5,961	18
海老名市	249,315	15	飲料	25.55	輸送用機器	22.96	155	14	6,526	16
座間市	244,075	16	電気機器	24.87	生産用機器	23.65	152	15	7,563	13
南足柄市	242,198	18	化学	48.42	飲料	26.06	56	19	4,315	19
綾瀬市	397,947	11	情報機器	20.58	食料	20.21	382	6	10,055	10
葉山町	1,700	30	-	-	-	-	11	30	148	30
寒川町	433,748	10	-	-	-	-	141	16	7,849	12
大磯町	7,345	27	-	-	-	-	21	26	214	29
二宮町	5,618	29	-	-	-	-	31	23	361	26
中井町	77,019	20	-	-	-	-	49	20	2,518	20
大井町	13,294	24	-	-	-	-	22	25	547	24
松田町	10,452	26	-	-	-	-	10	31	326	27
山北町	51,516	21	-	-	-	-	35	22	1,651	21
開成町	32,475	22	-	-	-	-	20	27	1,070	22
箱根町	742	33	-	-	-	-	7	32	44	33
真鶴町	870	32	-	-	-	-	18	28	84	32
湯河原町	11,797	25	-	-	-	-	16	29	240	28
愛川町	350,537	12	-	-	-	-	179	12	7,130	14
清川村	6,505	28	-	-	-	-	7	32	530	25

横浜地域	4,295,672	2	-	-	-	-	3,315	1	91,029	2
川崎地域	4,134,306	3	-	-	-	-	1,495	4	50,062	4
横須賀三浦地域	1,022,680	5	-	-	-	-	450	6	21,158	5
県央地域	3,470,456	4	-	-	-	-	2,602	2	98,123	1
湘南地域	4,315,893	1	-	-	-	-	1,558	3	76,502	3
県西地域	992,772	6	-	-	-	-	491	5	20,876	6

2-12~2-15 2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)

注釈

2-12~2-15

- 以下の全てに該当する製造事業所について集計したもの。
 - 個人経営を除く事業所であること
 - 管理、補助的経済活動のみを行う事業所ではないこと
 - 製造品目別に出荷額が得られた事業所であること

2-12~2-13

- 2022年1月から2022年12月までの1年間の値。

2-13

- 秘匿値、未公表値は順位をつけていない。
- 町村の製造業製造品出荷額等は未公表値であるため、「-」としている。
- 産業中分類の名称は、次のとおり。

輸送用機器:輸送用機械器具製造業、石油:石油製品・石炭製品製造業、食料:食料品製造業、飲料:飲料・たばこ・飼料製造業、化学:化学工業、非鉄金属:非鉄金属製造業、はん用機器:はん用機械器具製造業、生産用機器:生産用機械器具製造業、業務用機器:業務用機械器具製造業、電子部品:電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機器:電気機械器具製造業、情報機器:情報通信機械器具製造業

2-14、2-15

- 2023年6月1日現在の値。

年間商品販売額(卸売業) ▶▶▶ 1位 横浜市 2-16

指標 2020年の神奈川県卸売業の年間商品販売額は12兆4164億円です。

県内市町村で卸売業の年間商品販売額が最も多いのは横浜市で6兆8758億円です。横浜市だけで県全体の半数以上を占めています。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

用語 年間商品販売額

1年間の当該事業所における有体商品の販売額をいいます。土地・建物などの不動産及び株券、商品券、プリペイドカード、宝くじ、切手などの有価証券の販売額は含めません。

用語 卸売業

主として次の業務を行う事業所をいいます。

- ①小売業者又は他の卸売業者に商品を販売する事業所
- ②産業用使用者に業務用として商品を大量又は多額に販売する事業所
- ③主として業務用に使用される商品を販売する事業所
- ④製造業の会社が、別の場所で経営している自己製品の卸売事業所
- ⑤商品を卸売し、かつ、同種商品の修理を行う事業所
- ⑥主として手数料を得て他の事業所のために商品の売買の代理又は仲立を行う事業所

従業者数(卸売業) ▶▶▶ 1位 横浜市 2-17

指標 2021年6月1日現在の神奈川県卸売業の従業者数は13万1663人です。

県内市町村で卸売業の従業者数が最も多いのは横浜市で6万8348人、次いで川崎市が2万1760人です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

年間商品販売額(小売業) ▶▶▶ 1位 横浜市 2-18

指標 2020年の神奈川県小売業の年間商品販売額は8兆5525億円です。

県内市町村で小売業の年間商品販売額が最も多いのは横浜市で3兆8461億円、次いで川崎市が1億1572億円です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

用語 小売業

主として次の業務を行う事業所をいいます。

- ①個人又は家庭用消費者のために商品を販売する事業所
- ②産業用使用者に少量又は少額に商品を販売する事業所
- ③商品を販売し、かつ、同種商品の修理を行う事業所
- ④製造小売事業所(例:菓子店、パン屋、豆腐屋、調剤薬局等)
- ⑤ガソリンスタンド
- ⑥主として無店舗販売を行う事業所で、主として個人又は家庭用消費者に販売する事業所
- ⑦別経営の事業所(官公庁、会社、工場、団体、遊園地などの中にある売店等で他の事業者によって経営されている場合はそれぞれ独立した事業所として小売業に分類します。)

従業者数(小売業) ▶▶▶ 1位 横浜市 2-19

指標 2021年6月1日現在の神奈川県小売業の従業者数は41万5292人です。

県内市町村で小売業の従業者数が最も多いのは横浜市で16万8665人、次いで川崎市が6万1227人です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

小売店数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 箱根町 2-20

指標 2021年6月1日現在の神奈川県人口1000人当たりの小売店数は4.04店です。

県内市町村で人口1000人当たりの小売店数が最も多いのは箱根町で14.77店、最も少ないのは綾瀬市で3.15店です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]
[神奈川県人口統計調査]

用語 小売店

ここで掲載した小売店数は、経済センサス-活動調査において小売業に分類された事業所数(管理・補助的経済活動のみ行う事業所等を除く)です。

統計情報 経済センサス-活動調査

令和3年経済センサス-活動調査 [総務省・経済産業省]

公表日:速報令和4年5月31日~順次公表 公表周期:5年ごと

経済センサスは、事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としています。

経済センサスは、事業所・企業の基本的構造を明らかにする「経済センサス-基礎調査」と、事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「経済センサス-活動調査」の二つから成り立っています。

市町村・地域名	年間商品販売額 (卸売業)		従業者数 (卸売業)		年間商品販売額 (小売業)		従業者数 (小売業)		小売店数 (人口1000人当たり)	
	2020年		2021年		2020年		2021年		2021年	
	2-16	2-17	2-17	2-18	2-18	2-19	2-19	2-20	2-20	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	百万円		人		百万円		人		店	
神奈川県	12,416,394		131,663		8,552,545		415,292		4.04	
横浜市	6,875,814	1	68,348	1	3,846,147	1	168,665	1	3.79	27
川崎市	2,037,504	2	21,760	2	1,157,170	2	61,227	2	3.22	32
相模原市	558,408	4	6,670	3	600,888	3	31,817	3	3.68	29
横須賀市	146,021	10	2,272	9	356,147	5	17,592	5	4.78	18
平塚市	346,849	5	3,718	6	251,305	6	13,385	6	5.19	12
鎌倉市	43,506	18	1,086	14	160,725	11	9,949	10	7.35	4
藤沢市	339,114	6	3,931	5	440,395	4	21,935	4	4.43	22
小田原市	134,610	11	2,774	8	203,939	9	10,670	9	6.50	5
茅ヶ崎市	69,876	14	1,215	13	151,710	12	9,048	11	3.75	28
逗子市	4,121	24	112	25	39,359	17	2,345	18	4.87	14
三浦市	44,012	17	556	19	39,089	18	2,400	17	6.10	7
秦野市	36,703	19	793	16	127,926	13	7,291	13	4.32	23
厚木市	844,661	3	6,468	4	236,989	7	11,769	7	4.82	15
大和市	208,368	8	2,905	7	215,685	8	11,272	8	3.67	30
伊勢原市	124,131	12	1,870	11	90,183	15	4,732	15	4.55	20
海老名市	146,856	9	2,149	10	203,595	10	8,467	12	4.79	17
座間市	227,240	7	1,482	12	112,906	14	5,542	14	3.46	31
南足柄市	3,536	25	127	24	24,698	22	1,468	21	3.92	26
綾瀬市	75,402	13	873	15	79,178	16	3,192	16	3.15	33
葉山町	3,053	26	104	26	19,394	25	1,124	23	5.20	10
寒川町	46,948	16	578	18	28,594	20	1,961	19	4.21	25
大磯町	7,290	21	154	23	19,902	24	1,266	22	4.49	21
二宮町	820	31	54	30	14,367	27	1,096	24	5.83	8
中井町	13,948	20	241	20	12,768	28	577	29	5.66	9
大井町	7,033	22	177	22	26,616	21	1,086	25	5.20	11
松田町	1,025	30	35	32	1,769	31	202	32	4.79	16
山北町	1,628	29	57	29	3,399	30	389	30	6.12	6
開成町	2,224	27	83	28	16,932	26	947	27	5.04	13
箱根町	2,048	28	90	27	11,516	29	936	28	14.77	1
真鶴町	x		44	31	x		238	31	7.38	3
湯河原町	5,106	23	181	21	21,108	23	1,057	26	8.18	2
愛川町	57,806	15	753	17	34,888	19	1,613	20	4.70	19
清川村	x		3	33	x		34	33	4.32	24

横浜市地域	6,875,814	1	68,348	1	3,846,147	1	168,665	1	3.79	5
川崎市地域	2,037,504	3	21,760	2	1,157,170	3	61,227	3	3.22	6
横須賀三浦地域	240,713	5	4,130	5	614,714	5	33,410	5	5.53	2
県央地域	2,118,741	2	21,303	3	1,484,129	2	73,706	2	3.92	4
湘南地域	971,731	4	12,313	4	1,124,382	4	60,714	4	4.47	3
県西地域	171,158	6	3,809	6	322,745	6	17,570	6	6.37	1

2-16～2-20 令和3年経済センサス-活動調査

注釈

2-16～2-20

1)管理・補助的経済活動のみを行う事業所、産業細分類が格付不能の法人組織の事業所又は産業小分類が格付不能の個人経営(法人でない団体を含む)の事業所、卸売の商品販売額(仲立手数料を除く)、小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い法人組織の事業所は含まない。

2-16、2-18

1)2020年1月1日から2020年12月31日までの1年間の販売額。

2)「x」は、集計対象となる事業所数が1又は2であるため、集計結果をそのまま公表すると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがある場合に該当数値を秘匿した箇所である。また、集計対象が3以上の事業所に関する数値であっても、集計対象が1又は2の事業所の数値が合計との差引きで判明する箇所は、併せて「x」としている。

2-17、2-19

1)2021年6月1日現在の値。

2-20

1)2021年6月1日現在の小売業に分類された事業所数(令和3年経済センサス-活動調査)を、神奈川県人口統計調査の2021年6月1日時点の人口で除したものの。



サービス系産業(民営)事業所数 2-21 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2021年6月1日現在の神奈川県の実業(民営)の事業所数は12万1732事業所です。

県内市町村でサービス系産業(民営)の事業所数が最も多いのは横浜市で4万9797事業所、次いで川崎市が1万7634事業所です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

用語 サービス系産業

ここでは、日本標準産業分類のうち、次の産業(大分類)を「サービス系産業」として取り上げています。

- ・不動産業、物品賃貸業
- ・学術研究、専門・技術サービス業
- ・宿泊業、飲食サービス業
- ・生活関連サービス業、娯楽業
- ・教育、学習支援業 ※学校教育を除く
- ・サービス業(他に分類されないもの)
 ※政治・経済・文化団体、宗教を除く

サービス系産業(民営)従業者数 2-22 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2021年6月1日現在の神奈川県の実業(民営)の従業者数は110万3081人です。

県内市町村でサービス系産業(民営)の従業者数が最も多いのは横浜市で51万1464人、次いで川崎市が16万311人です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]



飲食店数(人口1000人当たり) 2-23 ▶▶▶ 1位 箱根町

指標 2021年6月1日現在の神奈川県の実業(民営)の飲食店数は3.05店です。

県内市町村で人口1000人当たりの飲食店数が最も多いのは箱根町で19.72店、次いで真鶴町が6.03店です。最も少ないのは、綾瀬市で1.74店です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]
 [神奈川県人口統計調査]

用語 飲食店

ここで掲載した飲食店数は、経済センサス-活動調査において飲食店に分類された事業所数です。

学術・開発研究機関(民営)事業所数 2-24 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2021年6月1日現在の神奈川県の実業(民営)の学術・開発研究機関(民営)の事業所数は528事業所です。

県内市町村で学術・開発研究機関(民営)の事業所数が最も多いのは横浜市で215事業所、次いで川崎市が103事業所です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

用語 学術・開発研究機関

学術・開発研究機関とは、理学、工学、農学、医学、薬学などの自然科学に関する学術的研究、試験、開発研究などを行う事業所及び文化、芸術などの人文科学又は政治、経済などの社会科学に関する学術的研究を行う事業所をいいます。

学術・開発研究機関(民営)従業者数 2-25 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2021年6月1日現在の神奈川県の実業(民営)の学術・開発研究機関(民営)の従業者数は5万3264人です。

県内市町村で学術・開発研究機関(民営)の従業者数が最も多いのは横浜市で1万7046人です。

県内地域別にみると、学術・開発研究機関(民営)の従業者数が最も多いのは県央地域で1万9037人です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

統計情報 経済センサス-活動調査

令和3年経済センサス-活動調査 [総務省・経済産業省]

公表日:速報令和4年5月31日~順次公表 公表周期:5年ごと

経済センサスは、事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としています。

経済センサスは、事業所・企業の基本的構造を明らかにする「経済センサス-基礎調査」と、事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「経済センサス-活動調査」の二つから成り立っています。

市町村・地域名	サービス系産業 (民間)事業所数		サービス系産業 (民間)従業者数		飲食店数 (人口1000人当たり)		学術・開発研究機関 (民間)事業所数		学術・開発研究機関 (民間)従業者数	
	2021年	2-21	2021年	2-22	2021年	2-23	2021年	2-24	2021年	2-25
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	121,732		1,103,081		3.05		528		53,264	
横浜市	49,797	1	511,464	1	2.92	20	215	1	17,046	1
川崎市	17,634	2	160,311	2	2.73	23	103	2	4,930	3
相模原市	8,766	3	67,900	3	2.55	27	37	3	1,692	9
横須賀市	4,898	5	33,013	6	3.55	10	16	8	2,469	6
平塚市	3,799	7	28,045	7	3.40	12	23	5	2,193	7
鎌倉市	3,379	8	21,271	10	5.92	3	20	6	2,041	8
藤沢市	5,793	4	53,826	5	3.40	11	36	4	3,458	5
小田原市	2,998	10	27,209	8	4.40	7	10	9	505	11
茅ヶ崎市	2,860	11	16,183	12	2.89	21	4	13	16	21
逗子市	868	17	4,495	19	3.36	13	2	18	9	23
三浦市	675	19	3,493	22	5.45	5	-	-	-	-
秦野市	1,820	13	11,400	13	2.69	24	3	15	62	17
厚木市	3,941	6	58,699	4	3.28	15	19	7	11,944	2
大和市	3,134	9	21,372	9	3.32	14	3	15	59	18
伊勢原市	1,511	14	9,709	14	3.20	17	4	13	211	14
海老名市	1,934	12	20,531	11	3.15	18	7	11	4,563	4
座間市	1,331	15	8,676	16	2.29	29	8	10	234	13
南足柄市	444	24	2,594	25	2.10	30	-	-	-	-
綾瀬市	984	16	7,708	17	1.74	33	2	18	421	12
葉山町	437	25	2,511	26	3.28	16	2	18	149	15
寒川町	653	20	4,686	18	2.68	25	2	18	35	20
大磯町	448	23	2,634	24	2.66	26	-	-	-	-
二宮町	434	26	1,514	28	2.81	22	-	-	-	-
中井町	133	30	962	29	2.07	31	1	22	4	24
大井町	285	28	1,631	27	3.68	9	1	22	36	19
松田町	272	29	937	30	5.35	6	1	22	10	22
山北町	132	31	554	31	1.97	32	-	-	-	-
開成町	326	27	2,771	23	2.55	28	3	15	1,051	10
箱根町	834	18	9,034	15	19.72	1	-	-	-	-
真鶴町	126	32	439	32	6.03	2	1	22	2	25
湯河原町	552	21	3,603	21	5.60	4	-	-	-	-
愛川町	492	22	3,665	20	2.96	19	5	12	124	16
清川村	42	33	241	33	3.98	8	-	-	-	-

横浜地域	49,797	1	511,464	1	2.92	4	215	1	17,046	2
川崎地域	17,634	3	160,311	3	2.73	6	103	2	4,930	4
横須賀三浦地域	10,257	5	64,783	5	4.23	2	40	5	4,668	5
県央地域	20,624	2	188,792	2	2.77	5	81	3	19,037	1
湘南地域	17,318	4	127,997	4	3.14	3	72	4	5,975	3
県西地域	6,102	6	49,734	6	4.51	1	17	6	1,608	6

2-21～2-25 令和3年経済センサス-活動調査

注釈

2-21～2-25

1)2021年6月1日現在の値。

2)民営事業所(国及び地方公共団体の事業所を除く事業所)の集計値。

3)令和3年経済センサス-活動調査において当該産業に分類される全事業所数であり、管理・補助的経済活動のみを行う事業所等も含まれている。

2-23

1)令和3年経済センサス-活動調査において飲食店に分類された事業所数を、神奈川県人口統計調査の2021年6月1日時点の人口で除したものの。

	2-26 / 2-27 / 2-28
労働力率(総数) ▶▶▶ 1位	箱根町
労働力率(男性) ▶▶▶ 1位	川崎市
労働力率(女性) ▶▶▶ 1位	箱根町

指標 2020年の神奈川県労働力率は63.09%です。男女別にみると、男性が73.05%、女性が53.67%です。

県内市町村で労働力率が最も高いのは箱根町で69.01%、最も低いのは清川村で51.95%です。

男女別にみると、男性の労働力率が最も高いのは川崎市で77.88%、女性の労働力率が最も高いのは箱根町で63.53%です。労働力率が最も低いのは、男女ともに清川村です。全市町村で女性より男性の方が労働力率が高くなっています。

県内地域別にみると、労働力率が最も高いのは男女ともに川崎地域、最も低いのは男女ともに横須賀三浦地域です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 労働力率

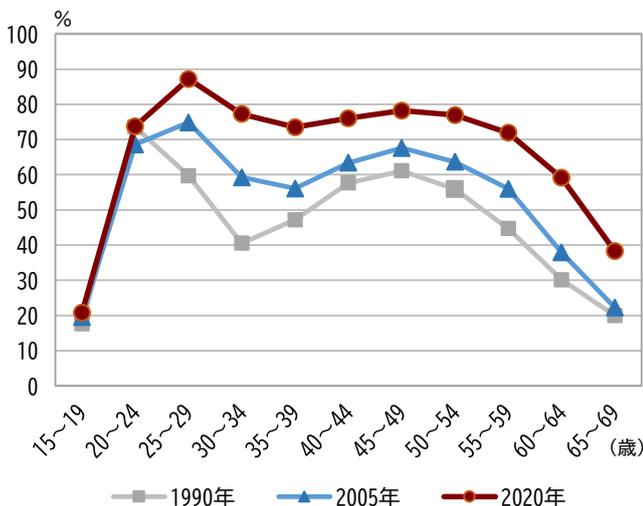
15歳以上人口(労働力状態「不詳」を除く。)に占める労働力人口の割合です。

労働力率 =

$$\frac{\text{労働力人口}}{\text{15歳以上人口(労働力状態「不詳」を除く)}} \times 100$$

労働力人口は、就業者(休業者を含む)と完全失業者の合計です。

神奈川県女性の年齢5歳階級別労働力率の推移



この統計は [平成2年・平成17年・令和2年国勢調査]

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日: 令和3年11月30日~順次公表
公表周期: 5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象としています。

2-29

「M字カーブ」の谷の深さ(女性)
▶▶▶ 1位 清川村

指標 2020年の神奈川県「M字カーブ」の谷の深さ(各年代の労働力率の「山」と「底」の落差)は、13.69ポイントです。

県内市町村で「M字カーブ」の谷の深さが最も深いのは清川村で27.24ポイント、最も浅いのは中井町で7.27ポイントです。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 M字カーブ

日本の女性の労働力人口比率(労働力率、労働参加率)又は就業率を年齢階級別にグラフ化したとき、30歳代を谷とし、20歳代後半と40歳代後半が山になるアルファベットのMのような形になることをいいます。この背景には、結婚や出産を機に労働市場から退出し、子育てが一段落すると再び労働市場に参入する女性が多いということが考えられます。

2-30

完全失業率 ▶▶▶ 1位 真鶴町

指標 2020年の神奈川県完全失業率は3.68%です。

県内市町村で完全失業率が最も高いのは真鶴町で5.79%、最も低いのは箱根町で1.98%です。

県内地域別にみると、完全失業率が最も高いのは県央地域で4.08%、最も低いのは川崎地域で3.26%です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 完全失業率

労働力人口に占める完全失業者の割合です。

$$\text{完全失業者率} = \frac{\text{完全失業者}}{\text{労働力人口}} \times 100$$

完全失業者とは、調査期間(調査年の9月24日から30日までの1週間)中、収入を伴う仕事を少しもしなかった者のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ、ハローワーク(公共職業安定所)に申し込むなどして積極的に仕事を探していた者をいいます。



市町村・地域名	労働力率 (総数)		労働力率 (男性)		労働力率 (女性)		「M字カーブ」の 谷の深さ(女性)		完全失業率	
	2020年 値	2-26 順位	2020年 値	2-27 順位	2020年 値	2-28 順位	2020年 値	2-29 順位	2020年 値	2-30 順位
神奈川県	63.09		73.05		53.67		13.69		3.68	
横浜市	63.13	6	73.13	6	53.77	5	14.52	13	3.57	27
川崎市	68.42	2	77.88	1	59.24	2	13.70	17	3.26	30
相模原市	63.20	5	72.58	9	54.22	3	13.78	16	4.10	13
横須賀市	57.91	23	68.65	21	47.46	28	10.27	31	4.26	8
平塚市	60.66	19	70.50	19	51.24	18	11.84	23	4.12	11
鎌倉市	58.05	22	69.22	20	48.45	25	19.22	3	3.27	29
藤沢市	62.57	10	73.37	5	52.46	12	15.46	9	3.65	24
小田原市	62.16	12	71.49	16	53.69	6	13.32	18	3.68	21
茅ヶ崎市	60.95	18	71.48	17	51.42	16	15.19	10	3.68	22
逗子市	57.21	27	67.79	22	48.18	26	19.99	2	3.72	20
三浦市	56.90	28	66.82	28	48.04	27	12.14	22	4.11	12
秦野市	58.07	21	67.31	26	48.96	22	12.88	20	4.65	6
厚木市	62.44	11	72.04	12	52.52	11	10.27	30	4.31	7
大和市	63.56	3	73.83	3	53.88	4	14.78	12	3.87	17
伊勢原市	62.65	9	72.40	10	52.96	9	13.97	15	3.60	26
海老名市	61.85	13	71.96	13	52.03	14	16.27	7	3.51	28
座間市	62.98	7	73.11	7	53.27	7	13.12	19	4.24	9
南足柄市	57.52	25	67.16	27	48.50	23	11.49	27	5.19	4
綾瀬市	61.44	15	72.13	11	50.77	19	14.21	14	4.05	14
葉山町	57.28	26	67.56	24	48.48	24	18.58	4	3.09	31
寒川町	62.97	8	73.40	4	52.59	10	11.68	26	3.78	18
大磯町	56.58	29	67.62	23	46.37	31	18.38	5	3.67	23
二宮町	55.26	30	64.72	30	46.67	30	15.14	11	4.15	10
中井町	57.82	24	66.17	29	49.52	21	7.27	33	3.73	19
大井町	61.76	14	71.77	15	52.24	13	11.73	25	4.05	15
松田町	61.35	16	71.30	18	51.74	15	11.80	24	3.64	25
山北町	58.45	20	67.41	25	49.74	20	12.86	21	3.92	16
開成町	61.26	17	71.94	14	51.39	17	17.40	6	3.08	32
箱根町	69.01	1	75.16	2	63.53	1	10.77	28	1.98	33
真鶴町	53.85	32	63.24	32	45.78	32	15.53	8	5.79	1
湯河原町	54.86	31	64.12	31	47.07	29	10.54	29	5.29	3
愛川町	63.31	4	72.86	8	53.14	8	9.43	32	4.75	5
清川村	51.95	33	61.67	33	41.57	33	27.24	1	5.66	2

横浜市地域	63.13	2	73.13	2	53.77	2			3.57	5
川崎市地域	68.42	1	77.88	1	59.24	1			3.26	6
横須賀三浦地域	57.79	6	68.55	6	47.86	6			3.91	3
県央地域	62.88	3	72.62	3	53.42	3			4.08	1
湘南地域	61.02	4	71.25	4	51.33	5			3.88	4
県西地域	60.72	5	70.08	5	52.17	4			3.94	2

2-26~2-30 令和2年国勢調査

注釈

2-26~2-30

1) 2020年9月24日から30日までの1週間に仕事をしたかどうかの別により区分したもの。

2-29、2-30

1) 令和2年国勢調査をもとに、統計センター算出。



Q.1 神奈川県に常住している就業者を産業大分類別にみると、構成比が最も高いのはどの産業？(2020年10月1日現在)

- A.**
- ① 卸売業、小売業
 - ② 製造業
 - ③ 医療、福祉

Q.2 県内地域で医療、福祉の事業所の従業者が最も多いのはどこ？(2021年6月1日現在)

- A.**
- ① 横浜地域
 - ② 横須賀三浦地域
 - ③ 県西地域

Q.3 県内市町村で農業産出額(推計)が最も多いのは横浜市ですが、2番目に多いのはどこ？(2022年)

- A.**
- ① 相模原市
 - ② 三浦市
 - ③ 平塚市

Q.4 県内地域で製造業製造品出荷額等が最も多いのはどこ？(2022年)

- A.**
- ① 横浜地域
 - ② 川崎地域
 - ③ 湘南地域

Q.5 県内市町村で卸売業の年間商品販売額が3番目に多い市町村はどこ？(2020年)

- A.**
- ① 相模原市
 - ② 厚木市
 - ③ 藤沢市

Q.6 県内市町村で人口1000人当たりの小売店数が最も多いのはどこ？(2021年6月1日現在)

- A.**
- ① 鎌倉市
 - ② 海老名市
 - ③ 箱根町

Q.7 県内地域で学術・開発研究機関(民営)の従業者数が最も多いのはどこ？(2021年6月1日現在)

- A.**
- ① 横浜地域
 - ② 横須賀三浦地域
 - ③ 県央地域

Q.8 県内市町村で労働力率が最も高いのはどこ？(2020年)

- A.**
- ① 川崎市
 - ② 箱根町
 - ③ 寒川町

答えは79ページ ▶

3

県民生活



3-01 持ち家比率 ▶▶▶ 1位 葉山町

指標 2023年10月1日現在の神奈川県のある住宅数は427万1500戸であり、このうち持ち家の比率は58.71%です。

県内市町村で持ち家比率が最も高いのは葉山町で86.53%、最も低いのは川崎市で46.11%です。

なお、本統計では市区及び人口1万5千人以上の町村について内訳が公表されているため、人口1万5千人未満の県内6市町村については内訳が公表されていません。

この統計は [令和5年住宅・土地統計調査]

用語 持ち家

住宅・土地統計調査において、人が居住する住宅の所有の関係は、「持ち家」「借家」に区別されます。

持ち家とは、居住している世帯が全部又は一部を所有している住宅で、最近建築、購入又は相続した住宅で登記がまだ済んでいない場合やローンなどの支払が完了していない場合も「持ち家」として扱います。また、親の名義の住宅に住んでいる場合も「持ち家」として扱います。

3-02 持ち家住宅の延べ面積(1住宅当たり) ▶▶▶ 1位 大井町

指標 2023年10月1日現在の神奈川県の持ち家の1住宅当たり延べ面積は97.87㎡です。

県内市町村で持ち家の1住宅当たり延べ床面積が最も大きいのは大井町で122.82㎡、最も小さいのは川崎市で89.94㎡です。

この統計は [令和5年住宅・土地統計調査]

用語 住宅の延べ面積

人が居住する住宅における、各住宅の床面積の合計をいいます。この延べ面積には、居住室の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関、台所、トイレ、浴室、廊下、階段、農家の土間、押し入れなどや店、事務室など営業用に使っている部分の面積も含めます。ただし、別棟の物置・車庫の面積や商品倉庫・作業場など営業用の附属建物の面積は含めません。

アパートやマンションなど共同住宅の場合は、共同で使用している廊下、階段などの共用部分の面積を除いたそれぞれの住宅の専用部分の床面積としています。

統計情報 住宅・土地統計調査

令和5年住宅・土地統計調査[総務省統計局] 公表日:令和6年9月25日 公表周期:5年ごと

我が国の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにする統計調査です。この調査の結果は、住生活基本法に基づいて作成される住生活基本計画、土地利用計画などの諸施策の企画、立案、評価等の基礎資料として利用されています。

本調査は、住宅数、空き家数、建物の構造や建て方、建築の時期などの結果を提供しています。また、全国、都道府県だけでなく、市、区及び人口1万5千人以上の町村の結果も提供しています。

3-03 / 3-04 一戸建住宅比率 ▶▶▶ 1位 葉山町 共同住宅比率 ▶▶▶ 1位 川崎市

指標 2023年10月1日現在の神奈川県の居住世帯のある住宅数に占める一戸建住宅の比率は40.74%、共同住宅の比率は56.98%です。県全体では共同住宅の割合の方が高くなっています。

県内市町村で一戸建住宅比率が最も高いのは葉山町で83.80%です。一方、共同住宅比率が最も高いのは川崎市で73.98%です。

県内地域別にみると、横浜地域、川崎地域、県央地域では共同住宅比率の方が高くなる一方、その他の地域では一戸建住宅比率が高くなっています。

この統計は [令和5年住宅・土地統計調査]

用語 一戸建、共同住宅

住宅・土地統計調査における住宅の建て方には、「一戸建」「長屋建」「共同住宅」「その他」の4分類があります。

一戸建は、一つの建物が1住宅であるものをいいます。

共同住宅は、一棟の中に二つ以上の住宅があり、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたものです。1階が店舗で、2階以上に二つ以上の住宅がある建物も含みます。

3-05 空き家比率 ▶▶▶ 1位 湯河原町

指標 2023年10月1日現在の神奈川県の総住宅数に占める空き家の比率は9.80%です。

県内市町村で空き家比率が最も高いのは湯河原町で34.15%、最も低いのは伊勢原市で6.96%です。

この統計は [令和5年住宅・土地統計調査]

用語 空き家

住宅・土地統計調査における空き家とは、ふだん人が居住していない住宅のうち、「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」「賃貸用の空き家」「売却用の空き家」「二次的住宅(別荘等)」の4分類をいいます。

賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家とは、賃貸用の空き家、売却用の空き家及び二次的住宅以外の人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅などをいいます。(空き家の種類の判断が困難な住宅を含む。)

市町村・地域名	持ち家比率		持ち家住宅の延べ面積 (1住宅当たり)		一戸建住宅比率		共同住宅比率		空き家比率	
	2023年 値	3-01 順位	2023年 値	3-02 順位	2023年 値	3-03 順位	2023年 値	3-04 順位	2023年 値	3-05 順位
神奈川県	58.71		97.87		40.74		56.98		9.80	
横浜市	58.14	24	94.00	25	35.59	26	62.51	2	8.68	21
川崎市	46.11	27	89.94	27	24.18	27	73.98	1	8.97	19
相模原市	60.25	21	97.22	22	46.57	21	51.48	6	8.18	24
横須賀市	73.68	10	98.96	20	58.50	16	39.11	12	15.55	4
平塚市	64.81	19	105.84	16	54.25	18	42.14	10	11.70	11
鎌倉市	71.82	12	116.24	6	60.41	14	36.94	14	10.80	14
藤沢市	59.05	23	101.30	19	44.10	24	53.19	4	9.61	15
小田原市	64.23	20	115.51	7	62.16	13	34.65	15	12.37	10
茅ヶ崎市	69.40	13	105.40	18	57.83	17	37.45	13	9.16	18
逗子市	78.01	4	108.79	13	65.75	9	31.46	18	17.13	3
三浦市	77.15	5	107.81	15	69.95	7	27.96	20	18.92	2
秦野市	66.96	16	108.16	14	58.60	15	39.21	11	14.71	5
厚木市	59.33	22	105.46	17	45.90	22	51.15	7	12.45	9
大和市	53.83	26	94.74	24	40.12	25	56.20	3	9.45	16
伊勢原市	56.39	25	112.27	10	53.11	19	43.86	9	6.96	27
海老名市	67.38	15	96.36	23	47.93	20	50.16	8	9.18	17
座間市	65.44	18	90.69	26	45.59	23	52.57	5	11.05	13
南足柄市	75.28	7	122.27	2	78.88	4	15.03	25	11.34	12
綾瀬市	72.87	11	98.47	21	67.30	8	29.96	19	8.08	25
葉山町	86.53	1	120.68	3	83.80	1	13.63	26	14.33	6
寒川町	68.91	14	110.10	11	63.89	11	31.97	17	7.86	26
大磯町	81.25	2	114.17	8	80.22	3	16.16	24	13.62	8
二宮町	75.46	6	119.56	4	75.72	5	20.00	23	13.77	7
中井町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大井町	78.18	3	122.82	1	80.92	2	11.42	27	8.74	20
山北町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
開成町	73.81	9	116.94	5	64.67	10	27.15	22	8.42	22
箱根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真鶴町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
湯河原町	74.04	8	112.62	9	62.89	12	33.64	16	34.15	1
愛川町	65.97	17	109.62	12	70.05	6	27.27	21	8.32	23
清川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

横浜地域	58.14	5			35.59	5	62.51	2	8.68	6
川崎地域	46.11	6			24.18	6	73.98	1	8.97	5
横須賀三浦地域	74.32	1			61.38	2	36.15	5	14.67	1
県央地域	60.87	4			47.04	4	50.55	3	9.33	4
湘南地域	63.94	3			53.24	3	43.44	4	10.48	3
県西地域	67.87	2			65.58	1	30.28	6	14.33	2

3-01～3-05 令和5年住宅・土地統計調査

注釈

3-01～3-05

- 1)2023年10月1日現在の値。
- 2)人口1万5千人未満の市町村は内訳が公表されていないため、表中では「-」としている。

3-01

- 1)持ち家比率＝持ち家住宅数／居住世帯のある住宅数

3-03

- 1)一戸建住宅比率＝一戸建住宅数／居住世帯のある住宅数

3-04

- 1)共同住宅比率＝共同住宅数／居住世帯のある住宅数

3-05

- 1)空き家比率＝空家数／総住宅数(居住世帯のある住宅、居住世帯のない住宅の計)

3-06 / 3-07 / 3-08 / 3-09
新設住宅着工戸数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年度の神奈川県の新設住宅着工戸数は6万4766戸です。内訳をみると、持家が1万1120戸、貸家が2万5501戸、分譲住宅が2万8033戸となっています。

県内市町村で新設住宅着工戸数が最も多いのは横浜市で2万6610戸です。内訳をみると、持家が3391戸、貸家が1万185戸、分譲住宅が1万2984戸となっています。

この統計は [神奈川県内建築着工統計(令和5年度計)]

用語 新設住宅着工戸数

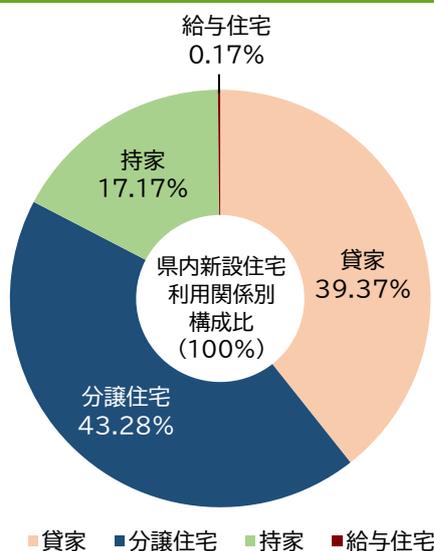
住宅の新築(旧敷地以外の敷地への移転を含む。)、増築又は改築によって住宅の戸が新たに造られる工事を「新設」といいます。

本統計では、新設住宅を利用関係別、建て方別、構造別、建築主別等の視点で分類して集計しています。

利用関係別では、持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の4つに分類されています。

- ・持家：建築主が自分で居住する目的で建築するもの。
- ・貸家：建築主が賃貸する目的で建築するもの。
- ・給与住宅：会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの。
- ・分譲住宅：建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

県内新設住宅着工戸数 利用関係別内訳(2023年度)



この統計は [神奈川県内建築着工統計(令和5年度計)]

統計情報 神奈川県内建築着工統計

神奈川県建築着工統計(令和5年度計)
 [県国土整備局建築指導課]
 公表周期:毎月
 国土交通省が行っている建築着工統計調査の神奈川県分を集計したものです。

統計情報 建築着工統計調査

建築着工統計調査(令和5年度計)[国土交通省]
 公表周期:毎月
 建築基準法第15条第1項の規定により届出が義務づけられている建築物を対象とする統計調査で、毎月調査結果を公表しています。
 建築物の着工状況について建築主別の建築物の数、床面積の合計、工事費予定額などの結果を、全国、都道府県、市区町村の地域で提供しています。

3-10 / 3-11
都市公園数 ▶▶▶ 1位 横浜市
都市公園面積(1人あたり) ▶▶▶ 1位 愛川町

指標 2022年3月31日現在の神奈川県都市公園数は7709箇所です。都市公園面積は5304.01haで、1人当たりの都市公園面積は5.75㎡です。

県内市町村で都市公園数が最も多いのは横浜市で2709箇所です。

県内市町村で1人当たりの都市公園面積が最も大きいのは愛川町で24.88㎡です。県内地域で1人あたり都市公園面積が最も大きいのは横須賀三浦地域で14.91㎡です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県都市公園課調]

用語 都市公園

一般に「公園」と呼ばれているものは都市公園に代表される営造物公園と、国立公園等自然公園に代表される地域制公園とに大別されます。

都市公園とは、都市公園法(昭和31年法律第79号)第2条に定義されており、その内容は次のとおりです。

- ・地方公共団体が都市計画施設(都市計画法に基づき定められた施設)として設置する公園又は緑地。
- ・地方公共団体が都市計画区域内に設置する公園又は緑地。
- ・国が一の都府県の区域を越えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園又は緑地。
- ・国が国家的な記念事業として、又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため、閣議の決定を経て設置する都市計画施設である公園又は緑地。

市町村・地域名	新設住宅 着工戸数		うち 持家数		うち 貸家数		うち 分譲住宅数		都市公園数		都市公園面積 (1人当たり)	
	2023年 値	3-06 順位	2023年 値	3-07 順位	2023年 値	3-08 順位	2023年 値	3-09 順位	2022年 値	3-10 順位	2022年 値	3-11 順位
神奈川県	64,766		11,120		25,501		28,033		7,709		5.75	
横浜市	26,610	1	3,391	1	10,185	1	12,984	1	2,709	1	4.93	22
川崎市	11,611	2	1,340	2	5,456	2	4,810	2	1,172	2	3.96	25
相模原市	5,390	3	909	3	1,657	3	2,807	3	628	3	4.95	21
横須賀市	1,962	6	483	6	922	6	552	8	539	4	17.30	6
平塚市	1,820	7	464	7	735	7	621	6	282	6	5.51	17
鎌倉市	1,201	9	349	9	396	13	453	9	255	7	9.87	10
藤沢市	3,260	4	686	4	1,303	4	1,268	4	316	5	5.30	19
小田原市	1,187	11	415	8	406	12	365	11	154	12	5.45	18
茅ヶ崎市	1,636	8	539	5	473	10	616	7	180	11	3.36	28
逗子市	333	18	117	17	113	17	103	20	85	15	15.86	7
三浦市	334	17	54	25	16	24	262	14	64	17	9.17	11
秦野市	1,193	10	315	10	585	9	292	13	200	10	6.58	16
厚木市	1,102	12	235	12	636	8	231	15	240	9	8.17	13
大和市	2,202	5	292	11	1,062	5	848	5	243	8	3.28	29
伊勢原市	661	15	219	13	240	15	200	16	149	13	3.93	26
海老名市	1,047	13	199	15	417	11	431	10	76	16	4.70	24
座間市	964	14	213	14	387	14	364	12	43	19	4.91	23
南足柄市	164	22	69	21	15	25	80	21	28	21	5.12	20
綾瀬市	603	16	174	16	224	16	196	17	133	14	6.98	15
葉山町	122	25	86	20	11	28	24	27	7	29	19.49	4
寒川町	318	19	110	18	80	18	127	19	42	20	3.81	27
大磯町	167	21	95	19	23	22	49	23	54	18	10.94	8
二宮町	114	26	58	24	25	21	31	25	17	24	8.42	12
中井町	53	29	33	27	12	27	7	30	3	31	24.57	2
大井町	125	24	41	26	14	26	70	22	4	30	0.28	32
松田町	61	28	26	29	9	29	26	26	9	27	7.18	14
山北町	26	31	12	31	-	-	14	28	8	28	24.44	3
開成町	140	23	69	21	22	23	49	23	13	25	1.68	31
箱根町	67	27	22	30	34	19	10	29	13	25	17.63	5
真鶴町	11	32	8	32	-	-	2	32	1	32	3.11	30
湯河原町	46	30	29	28	9	29	7	30	20	23	10.72	9
愛川町	230	20	62	23	34	19	134	18	22	22	24.88	1
清川村	6	33	6	33	-	-	-	-	-	-	-	-

横浜地域	26,610	1	3,391	1	10,185	1	12,984	1	2,709	1	4.93	5
川崎地域	11,611	2	1,340	4	5,456	2	4,810	3	1,172	4	3.96	6
横須賀三浦地域	3,952	5	1,089	5	1,458	5	1,394	5	950	5	14.91	1
県央地域	11,544	3	2,090	3	4,417	3	5,011	2	1,385	2	5.74	3
湘南地域	9,169	4	2,486	2	3,464	4	3,204	4	1,240	3	5.18	4
県西地域	1,880	6	724	6	521	6	630	6	253	6	6.74	2

3-06~3-09 神奈川県内建築着工統計(令和5年度計)、3-10~3-11 県勢要覧2023(令和5年度版)

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)

[県統計センター]

公表日: 令和6年3月 公表周期: 毎年

神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

注釈

3-06

1) 持家、貸家、分譲住宅のほか、給与住宅を含む。

3-10~3-11

1) 2022年3月31日現在の値。

2) 集計は国土交通省「都市公園等整備現況調査」に準じる。

3) 清川村は、全域が丹沢大山国定公園及び県立丹沢大山自然公園に指定され、全域が都市計画法の都市計画区域外となっている。

公共図書館蔵書数 ▶▶▶ 1位 横浜市 3-12

指標 2022年度末日現在、神奈川県には78の公共図書館があり、県立図書館2館のほか、県内すべての市町村に市町村立図書館があります。

2022年度末日現在の神奈川県内の公共図書館の蔵書数は1824万4117冊です。

県内市町村で公共図書館蔵書数が最も多いのは横浜市で408万5698冊です。横浜市には県内最多となる18の市立図書館があります。公共図書館蔵書数が最も少ないのは開成町で3万1871冊です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 神奈川県図書館協会調]

個人貸出登録者数 ▶▶▶ 1位 横浜市 3-13

指標 2022年度末日現在の神奈川県内の公共図書館の個人貸出登録者数は290万4840人です。

県内市町村で個人貸出登録者数が最も多いのは横浜市で73万7403人です。

県内地域別にみると、個人貸出登録者数が最も多いのは県央地域で74万1683人です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 神奈川県図書館協会調]

個人貸出冊数(1人当たり) ▶▶▶ 1位 二宮町 3-14

指標 2022年度の神奈川県内の公共図書館の1人当たり個人貸出冊数は3.86冊です。

県内市町村で1人当たり個人貸出冊数が最も多いのは二宮町で7.60冊、最も少ないのは三浦市で0.76冊です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 神奈川県図書館協会調]

理容・美容所数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 松田町 3-15

指標 2021年6月1日現在の県内の理容・美容所数は1万1884所で、人口1000人当たりでは1.29所となります。

県内市町村で人口1000人当たりの理容・美容所数が最も多いのは松田町で2.35所、最も少ないのは清川村で0.33所です。理容・美容所数が最も多いのは横浜市(4289所)ですが、人口1000人当たりでは1.13所で県内第31位となります。

県内地域で人口1000人当たりの理容・美容所数が最も多いのは県西地域で1.90所です。

この統計は [令和3年経済センサス-活動調査]

用語 理容・美容所

ここで掲載した理容・美容所数は、経済センサス-活動調査によって理容業、美容業に分類された事業所数です。



統計情報 経済センサス-活動調査

令和3年経済センサス-活動調査 [総務省・経済産業省]

公表日:速報令和4年5月31日~順次公表 公表周期:5年ごと

経済センサスは、事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としています。

経済センサスは、事業所・企業の基本的構造を明らかにする「経済センサス-基礎調査」と、事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「経済センサス-活動調査」の二つから成り立っています。

市町村・地域名	公共図書館蔵書数		個人貸出登録者数		個人貸出冊数 (1人当たり)		理容・美容所数 (人口1000人当たり)	
	2022年 値	3-12 順位	2022年 値	3-13 順位	2022年 値	3-14 順位	2021年 値	3-15 順位
神奈川県	18,244,117冊		2,904,840人		3.86冊		1.29所	
横浜市	4,085,698	1	737,403	1	3.06	27	1.13	31
川崎市	1,929,836	2	372,042	2	4.06	19	1.00	32
相模原市	1,454,327	3	147,953	7	3.12	26	1.48	20
横須賀市	786,300	5	238,838	3	3.51	21	1.74	10
平塚市	726,837	6	83,851	11	4.66	13	1.61	15
鎌倉市	572,028	9	70,997	12	7.26	2	1.69	12
藤沢市	1,264,220	4	133,692	8	6.74	5	1.42	23
小田原市	395,858	14	30,312	15	3.30	24	1.92	6
茅ヶ崎市	498,111	11	153,844	6	4.15	18	1.45	21
逗子市	232,481	19	40,751	14	7.05	3	1.73	11
三浦市	66,851	28	12,084	25	0.76	33	2.16	3
秦野市	518,987	10	58,072	13	3.22	25	1.64	14
厚木市	690,368	7	165,915	5	4.29	17	1.52	17
大和市	603,986	8	111,893	9	5.09	10	1.30	26
伊勢原市	309,146	15	26,745	17	5.09	9	1.43	22
海老名市	452,165	12	172,583	4	5.79	6	1.49	19
座間市	415,935	13	105,719	10	6.89	4	1.28	27
南足柄市	229,823	20	19,467	21	3.33	23	1.83	8
綾瀬市	241,057	16	17,609	24	3.99	20	1.27	28
葉山町	164,442	22	27,880	16	5.59	8	1.20	30
寒川町	237,026	18	18,512	22	5.62	7	1.53	16
大磯町	238,410	17	26,585	18	4.66	14	1.23	29
二宮町	222,548	21	22,348	20	7.60	1	1.93	5
中井町	47,367	31	528	33	2.66	28	1.42	24
大井町	89,336	24	5,375	29	4.62	15	1.52	18
松田町	74,391	26	6,523	28	2.58	29	2.35	1
山北町	64,543	29	8,257	27	4.82	11	1.87	7
開成町	31,871	33	10,781	26	1.97	30	1.68	13
箱根町	83,551	25	5,361	30	1.08	32	1.77	9
真鶴町	54,040	30	4,607	31	3.40	22	2.11	4
湯河原町	117,507	23	25,468	19	4.49	16	2.33	2
愛川町	72,491	27	17,643	23	1.64	31	1.31	25
清川村	45,266	32	2,368	32	4.67	12	0.33	33
(参考)県立図書館	1,227,314		22,834		-		-	

横浜地域	4,085,698	1	737,403	2	3.06	6	1.13	5
川崎地域	1,929,836	4	372,042	5	4.06	4	1.00	6
横須賀三浦地域	1,822,102	5	390,550	4	4.69	2	1.73	2
県央地域	3,975,595	3	741,683	1	4.14	3	1.43	4
湘南地域	4,015,285	2	523,649	3	5.22	1	1.50	3
県西地域	1,188,287	6	116,679	6	3.31	5	1.90	1

3-12~3-14 県勢要覧2023(令和5年度版)、3-15 令和3年経済センサス-活動調査

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)
[県統計センター]
公表日: 令和6年3月 公表周期: 毎年
神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの
各分野にわたる統計を収録したものです。

注釈

3-12~3-13

- 1)2023年3月31日現在の値。
- 2)神奈川県は市町村立図書館、県立図書館の総計。

3-14

- 1)2022年度の公共図書館の個人貸出冊数(神奈川県の値は市町村立図書館と県立図書館の個人貸出冊数の総計)を、神奈川県人口統計調査の2023年4月1日現在の人口で除したもの。

3-15

- 1)2021年6月1日現在の値。
- 2)令和3年経済センサス-活動調査において理容業、美容業に分類された事業所数を、神奈川県人口統計調査の2021年6月1日時点の人口で除したもの。

3-16

登録自動車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

指標 2022年度末日現在の神奈川県登録自動車数は270万8839台、人口1000人当たりでは293.73台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのは清川村で664.73台で、最も少ないのは川崎市で223.40台です。

県内地域別にみると、人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのは県西地域で383.47台です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

用語 登録自動車

登録自動車とは、道路運送車両法の規定による自動車の登録制度の対象となる自動車です。軽自動車、小型特殊自動車及び小型二輪車は含まれません。

3-17

貨物自動車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

指標 2022年度末日現在の神奈川県貨物自動車数は29万2326台、人口1000人当たりでは31.70台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの貨物自動車数が最も多いのは清川村で164.05台です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

3-18 / 3-19

普通乗用車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村
 小型乗用車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

指標 2022年度末日現在の神奈川県普通乗用車数は129万6794台、人口1000人当たりでは140.62台となります。また、小型乗用車数は102万7619台、人口1000人当たりでは111.43台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの普通乗用車数、小型乗用車数が最も多いのはともに清川村で、普通乗用車数は234.65台、小型乗用車数は220.67台です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

用語 普通乗用車、小型乗用車

小型乗用車は全長4.7m以下、全幅1.7m以下、全高2.0m以下であり、かつエンジンの総排気量が660ccを超え2000cc以下のものをいいます。これらの要件を1つでも超えると普通乗用車になります。

3-20

特種用途自動車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

指標 2022年度末日現在の神奈川県の特種用途自動車数は6万7601台、人口1000人当たりでは7.33台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの特種用途自動車数が最も多いのは清川村で36.15台です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

用語 特種用途自動車

特種用途自動車とは、消防車、護送車、医療防疫車、霊柩車、冷蔵冷凍車、タンク車、散水車、架線修理車、クレーン車など主たる目的が特種である自動車であって、その目的遂行に必要な構造、装置を備えるものです。

3-21

小型二輪車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 愛川町

指標 2022年度末日現在の神奈川県小型二輪車数は13万8203台、人口1000人当たりでは14.99台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの小型二輪車数が最も多いのは愛川町で30.00台です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

用語 小型二輪車

二輪自動車のうち、全長2.5m以下、全幅1.3m以下、全高2.0m以下であり、かつエンジンの総排気量が125ccを超え250cc以下のものを軽二輪自動車といいます。小型二輪自動車は軽二輪車より大きさが大きいもの、総排気量が250cc以上のものをいい、大型オートバイ等が含まれます。

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)
 [県統計センター]
 公表日:令和6年3月 公表周期:毎年
 神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの
 各分野にわたる統計を収録したものです。

市町村・地域名	登録自動車数 (人口1000人当たり)		貨物自動車数 (人口1000人当たり)		普通乗用車数 (人口1000人当たり)		小型乗用車数 (人口1000人当たり)		特種用途自動車数 (人口1000人当たり)		小型二輪車数 (人口1000人当たり)	
	2022年 3-16		2022年 3-17		2022年 3-18		2022年 3-19		2022年 3-20		2022年 3-21	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	293.73		31.70		140.62		111.43		7.33		14.99	
横浜市	283.31	31	30.15	21	142.54	27	101.48	32	6.48	24	14.37	28
川崎市	223.40	33	24.84	26	113.67	33	76.21	33	6.41	25	11.82	33
相模原市	314.13	24	38.56	16	138.91	28	126.13	26	8.16	16	15.24	24
横須賀市	304.63	25	25.84	25	137.62	29	132.57	23	6.32	28	20.27	8
平塚市	360.77	15	44.63	10	158.04	15	144.84	18	10.61	12	19.03	12
鎌倉市	284.00	30	13.54	32	150.11	22	114.25	30	4.73	32	15.17	25
藤沢市	300.96	26	27.67	24	146.46	24	118.60	27	6.32	27	15.25	23
小田原市	367.09	14	40.47	13	156.98	16	156.99	10	9.56	14	15.05	26
茅ヶ崎市	292.43	28	23.06	30	144.95	25	117.77	28	5.32	30	16.36	20
逗子市	285.67	29	12.42	33	151.58	21	116.23	29	3.73	33	16.79	18
三浦市	337.42	20	44.03	12	135.05	30	143.14	21	11.31	10	23.53	4
秦野市	335.34	22	23.72	29	152.51	19	150.43	13	6.34	26	16.98	17
厚木市	413.20	6	61.47	7	173.42	8	156.50	12	17.33	7	19.74	11
大和市	282.14	32	31.11	20	127.99	32	112.56	31	6.93	22	12.10	32
伊勢原市	378.11	12	44.53	11	168.67	11	150.39	14	10.94	11	18.02	15
海老名市	325.69	23	40.28	14	142.56	26	132.07	24	8.90	15	13.28	31
座間市	298.16	27	29.45	22	133.06	31	126.18	25	7.67	20	14.67	27
南足柄市	382.99	10	37.14	17	169.64	10	166.14	8	7.79	19	16.76	19
綾瀬市	381.22	11	67.50	5	155.09	18	142.94	22	10.26	13	17.53	16
葉山町	371.04	13	24.23	27	194.05	3	143.64	19	7.86	18	22.89	6
寒川町	384.94	9	56.42	8	161.40	12	145.41	17	17.28	8	20.23	9
大磯町	359.47	16	23.96	28	181.53	7	147.54	16	4.75	31	18.76	13
二宮町	336.24	21	15.92	31	156.69	17	156.72	11	5.47	29	18.18	14
中井町	563.27	2	139.98	2	189.31	6	195.64	4	33.11	2	25.55	2
大井町	409.87	7	56.07	9	173.19	9	170.06	7	7.30	21	20.16	10
松田町	401.07	8	38.71	15	161.35	13	171.70	6	18.01	6	23.19	5
山北町	493.68	5	68.47	4	191.92	5	197.39	3	19.72	4	22.18	7
開成町	339.79	19	28.45	23	159.19	14	143.44	20	6.78	23	15.32	22
箱根町	526.65	3	62.81	6	229.95	2	199.51	2	19.02	5	13.62	30
真鶴町	359.44	17	36.27	18	152.28	20	158.22	9	8.13	17	16.10	21
湯河原町	348.01	18	33.91	19	148.92	23	149.98	15	11.66	9	14.26	29
愛川町	510.64	4	99.28	3	192.75	4	192.80	5	21.54	3	30.00	1
清川村	664.73	1	164.05	1	234.65	1	220.67	1	36.15	1	24.56	3

横浜地域	283.31	5	30.15	4	142.54	5	101.48	5	6.48	4	14.37	5
川崎地域	223.40	6	24.84	5	113.67	6	76.21	6	6.41	5	11.82	6
横須賀三浦地域	302.84	4	22.61	6	144.42	3	127.70	4	6.07	6	19.00	1
県央地域	331.91	2	43.29	2	144.29	4	131.57	3	9.78	2	15.68	4
湘南地域	326.47	3	31.68	3	152.50	2	132.40	2	7.68	3	16.95	2
県西地域	383.47	1	43.85	1	163.24	1	161.60	1	10.69	1	16.20	3

3-16~3-21 県勢要覧2023(令和5年度版)

注釈

3-16~3-21

- 1)2023年3月31日現在の値。
- 2)神奈川県総計には、駐留軍、不明、その他を含むため、市町村計とは一致しない。
- 3)人口1000人当たり台数の算出には、神奈川県人口統計調査の2023年4月1日現在の人口を用いた。

3-22 給水人口普及率 ▶▶ 10市町村で100%以上

指標 2022年度の神奈川県のごみの総排出量は269万4614tで、1人1日当たりのごみの排出量は801g/人日です。また、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は431g/人日です。

県内市町村で10市町村が給水人口普及率100%以上となっています。表中の数字は端数を四捨五入しているため、表記上100.00%でも順位に差が出ています。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県生活衛生課調]

用語 上水道、簡易水道、専用水道

- ・上水道：一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業で、計画給水人口5,001人以上のもの。
- ・簡易水道：一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業で、計画給水人口101人以上5,000人以下のもの。
- ・専用水道：水道法第3条第6項に定められた社宅、療養所等における101人以上の居住者に水を供給するもの、又は1日最大給水量が20m³を超えるもの。

3-23 公共下水道人口普及率 ▶▶ 1位 逗子市

指標 2022年度の神奈川県のごみの総排出量は269万4614tで、1人1日当たりのごみの排出量は801g/人日です。また、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は431g/人日です。

県内市町村で公共下水道人口普及率が最も高いのは逗子市で100%、最も低いのは真鶴町で21.91%です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県下水道課調]

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)
[県統計センター]
公表日: 令和6年3月 公表周期: 毎年
神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

統計情報 一般廃棄物処理事業実態調査

令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査[環境省]
公表日: 令和6年4月19日 公表周期: 毎年
一般廃棄物行政の推進に関する基礎資料を得ることを目的として、全国の市町村等に対して行うものです。本調査結果は、ごみ・し尿の排出処理状況、事業経費・人員、処理施設の整備状況等について取りまとめたものです。

3-24 / 3-25 ごみの排出量(1人1日当たり) ▶▶ 1位 箱根町

うち家庭系ごみの排出量(1人1日当たり) ▶▶ 1位 湯河原町

指標 2022年度の神奈川県のごみの総排出量は269万4614tで、1人1日当たりのごみの排出量は801g/人日です。また、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は431g/人日です。

県内市町村で1人1日当たりのごみの排出量が最も多いのは箱根町で3326g/人日、最も少ないのは座間市で678g/人日です。

県内市町村で1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が最も多いのは湯河原町で808g/人日、最も少ないのは逗子市で344g/人日です。

この統計は [令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査]

用語 ごみ総排出量、1人1人当たりのごみ排出量、1人1日当たりの家庭系ごみ排出量

- ・ごみ総排出量 = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量
計画収集量：市町村が計画処理区域内でのごみ又はし尿を収集した量
直接搬入量：ごみを排出者自らが処理施設に直接持ち込んだ量
集団回収量：市町村による用具の貸出、補助金の交付等で市町村登録された住民団体によって回収された量
- ・1人1日当たりのごみ排出量
= ごみ総排出量 / 総人口 / 365(年間の日数)
- ・1人1日当たりの家庭系ごみ排出量
= 家庭系ごみ排出量 / 総人口 / 365(年間の日数)
家庭系ごみ：生活から出されるごみ(生活系ごみ)から、資源化されるごみ(集団回収量、資源ごみ、直接搬入ごみのうち資源として利用されるもの)を差し引いた量

3-26 ごみのリサイクル率 ▶▶ 1位 鎌倉市

指標 2022年度の神奈川県のごみのリサイクル率は24.15%です。

県内市町村でごみのリサイクル率が最も高いのは鎌倉市で56.28%です。

この統計は [令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査]

用語 リサイクル率

リサイクル率は、(直接資源化量 + 中間処理後再生利用量[固形燃料、焼却灰・飛灰のセメント原料化、セメント等への直接投入、飛灰の山元還元を除く] + 集団回収量) / (ごみ処理量 + 集団回収量) × 100により求めます。

市町村・地域名	給水人口普及率		公共下水道人口普及率		ごみの排出量 (1人1日当たり)		うち 家庭系ごみの排出量 (1人1日当たり)		ごみのリサイクル率	
	2022年	3-22	2022年	3-23	2022年	3-24	2022年	3-25	2022年	3-26
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	99.93		97.09		801		431		24.15	
横浜市	100.00	6	99.96	2	794	24	404	30	22.55	26
川崎市	100.00	8	99.57	3	767	27	444	21	19.00	28
相模原市	99.95	18	97.40	9	826	16	483	15	19.55	27
横須賀市	100.00	9	98.34	4	852	12	479	16	32.29	6
平塚市	99.92	25	97.79	5	818	20	458	17	25.04	18
鎌倉市	99.96	14	97.76	6	902	9	347	32	56.28	1
藤沢市	99.96	15	96.03	11	797	23	427	24	29.39	8
小田原市	97.62	33	83.43	24	936	6	542	9	22.72	25
茅ヶ崎市	100.07	4	95.79	12	710	32	410	28	26.27	15
逗子市	100.00	10	100.00	1	818	19	344	33	45.90	3
三浦市	99.99	11	35.64	32	979	5	432	23	37.12	4
秦野市	99.93	23	88.17	21	788	25	457	18	29.30	10
厚木市	99.73	27	89.60	20	823	17	412	26	25.27	17
大和市	99.95	21	95.52	13	743	28	411	27	25.91	16
伊勢原市	99.53	29	81.22	26	800	21	517	12	23.63	23
海老名市	100.00	5	96.36	10	714	31	357	31	29.45	7
座間市	99.95	17	97.75	7	678	33	405	29	28.53	12
南足柄市	100.39	3	75.06	28	845	14	545	8	24.04	21
綾瀬市	99.97	13	95.10	14	734	29	452	19	24.57	20
葉山町	99.98	12	76.22	27	927	8	418	25	49.46	2
寒川町	99.95	19	93.46	15	723	30	438	22	28.64	11
大磯町	99.91	26	86.02	22	890	11	527	10	28.04	14
二宮町	99.93	24	90.44	19	767	26	487	14	32.72	5
中井町	99.96	16	74.69	29	900	10	552	6	17.44	31
大井町	99.95	20	91.52	17	820	18	517	11	23.01	24
松田町	102.03	1	85.86	23	827	15	567	5	23.71	22
山北町	98.61	31	83.29	25	981	4	605	4	17.72	29
開成町	99.94	22	72.54	30	798	22	444	20	28.52	13
箱根町	100.66	2	54.64	31	3,326	1	777	2	5.27	33
真鶴町	98.64	30	21.91	33	1,124	3	770	3	17.48	30
湯河原町	100.00	6	92.68	16	1,447	2	808	1	14.14	32
愛川町	99.69	28	91.08	18	849	13	503	13	25.02	19
清川村	97.65	32	97.45	8	934	7	545	7	29.31	9

横浜地域	100.00	1	99.96	1						
川崎地域	100.00	2	99.57	2						
横須賀三浦地域	99.99	3	93.59	5						
県央地域	99.92	5	95.67	3						
湘南地域	99.94	4	93.79	4						
県西地域	98.72	6	80.53	6						

3-22～3-23 県勢要覧2023(令和5年度版)、3-24～3-26 令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査

注釈

3-22

- 1)給水人口普及率=現在給水人口/行政区域内人口
- 2)行政区域内人口は「令和2年国勢調査確定値を基準とした推計人口」である。

3-23

- 1)2023年3月31日現在の値。
- 2)下水道処理人口普及率=処理区域人口/行政人口
- 3)行政人口は2023年3月31日現在の住民基本台帳人口。

3-24～3-26

- 1)2022年度の1年間の実績又は2022年度末(2023年3月31日現在の値)。
- 2)総人口は、2022年10月1日における住民基本台帳での人口を用いている。

3-27 / 3-28 / 3-29

入込観光客数 ▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年中に神奈川県を訪れた観光客(入込観光客)の推計延人数(以下「入込観光客数」という)は1億9111万4262人です。

県内市町村で入込観光客数が最も多いのは横浜市で5429万940人で、次いで藤沢市が1960万8486人です。

入込観光客のうち宿泊者数が最も多い市町村は横浜市で836万4462人、次いで箱根町が393万8000人です。

入込観光客のうち日帰り客数が最も多い市町村は横浜市で4592万6478人で、次いで藤沢市が1895万2699人です。

県内地域別にみると、入込観光客が最も多いのは横浜地域、次いで湘南地域となっています。

この統計は [令和5年神奈川県入込観光客調査]

県内主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事別 観光客数TOP20 (2023年)

	名称	市町村名	観光客数 (千人)
1	湘南海岸・江の島	藤沢市	11,644
2	鶴岡八幡宮	鎌倉市	5,697
3	山崎(国道)	箱根町	5,291
4	各寺社	鎌倉市	4,252
5	箱根関所前(国道)	箱根町	3,497
6	乙女峠(国道)	箱根町	3,314
7	2023春節	横浜市	3,226
8	横浜港大さん橋国際客船ターミナル	横浜市	3,035
9	小田原城址公園	小田原市	2,780
10	箱根湯本駅	箱根町	2,525
11	夜にあらわれる光の横浜 (ヨルノヨ2023)	横浜市	2,420
12	宮ヶ瀬	清川村	2,353
13	ホケモンワールドチャンピオンシップス2023 横浜みなとみらいイベント	横浜市	2,300
14	三笠公園	横須賀市	1,977
15	三崎	三浦市	1,929
16	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎市	1,511
17	相模原麻溝公園	相模原市	1,442
18	江の島サムエル・コッキング苑	藤沢市	1,372
19	ヴェルニー公園	横須賀市	1,333
20	クリスマスマーケット in 横浜赤レンガ倉庫	横浜市	1,330

※「令和5年神奈川県入込観光客調査」にて観光客数が公表されている主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事について掲載しています。

この統計は [令和5年神奈川県入込観光客調査]

3-30 / 3-31 / 3-32 / 3-33

観光客消費額 ▶▶ 1位 藤沢市

うち観光客宿泊費 ▶▶ 1位 箱根町

指標 2023年の神奈川県内の観光客消費額は4323億1597万5千円で、内訳は宿泊費が1204億639万5千円、飲食費が1634億8836万5千円、その他消費額が1484億2121万4千円です。

県内市町村で観光客消費額が最も高いのは藤沢市で1085億7662万7千円、次いで箱根町が899億4135万2千円、鎌倉市が780億8242万8千円です。

内訳をみると、飲食費とその他消費額は藤沢市が1位、鎌倉市が2位となっていますが、観光客宿泊費は箱根町が1位、鎌倉市が2位となっています。

なお、観光客消費額については、横浜市を含む9市町村で調査未実施となっております。

この統計は [令和5年神奈川県入込観光客調査]

用語 宿泊費、飲食費、その他消費額

神奈川県入込観光客調査では、標準日実数調査、観光施設利用者数調査等から、県内観光客の入込状況を推計しています。

観光客消費額は以下のとおり算出しています。

宿泊費

宿泊施設利用者調査から算出しています。

宿泊費 = 宿泊者数 × 一人当たりの平均宿泊費

飲食費

標準日実数調査の際のアンケート調査から算出しています。

飲食費 = 観光客数 × 一人当たりの平均飲食費

その他の消費額

①観光施設入場料

有料施設の調査から算出しています。

②土産品代

標準日実数調査の際のアンケート調査から算出しています。

土産代 = 観光客数 × 一人当たりの平均土産品代

統計情報 神奈川県入込観光客調査

令和5年神奈川県入込観光客調査

[県文化スポーツ観光局観光課]

公表日: 令和6年8月9日 公表周期: 毎年

神奈川県内の各観光地を訪れる観光客の入込状況を把握し、県・市町村の観光施策の基礎資料とするものです。

市町村・地域名	入込観光客数		うち 宿泊客数		うち 日帰り客数		観光客消費額		うち 観光客宿泊費		うち 飲食費		うち その他消費額	
	2023年 3-27	2023年 3-27	2023年 3-28	2023年 3-28	2023年 3-29	2023年 3-29	2023年 3-30	2023年 3-30	2023年 3-31	2023年 3-31	2023年 3-32	2023年 3-32	2023年 3-33	2023年 3-33
	値	順位												
	人		人		人		千円		千円		千円		千円	
神奈川県	191,114,262		17,919,191		173,195,071		432,315,975		120,406,395		163,488,365		148,421,214	
横浜市	54,290,940	1	8,364,462	1	45,926,478	1	-		-		-		-	
川崎市	15,726,263	4	966,456	3	14,759,807	4	-		-		-		-	
相模原市	9,585,211	6	447,910	6	9,137,301	6	4,353,848	12	3,982,635	7	197,349	20	173,864	20
横須賀市	8,911,384	7	336,468	10	8,574,916	7	43,846,835	4	6,100,165	5	16,040,880	4	21,705,789	3
平塚市	6,921,177	9	144,865	13	6,776,312	9	2,667,155	14	1,043,028	12	1,500,127	12	124,000	21
鎌倉市	12,284,233	5	421,085	8	11,863,148	5	78,082,428	3	12,948,432	2	43,229,310	2	21,904,686	2
藤沢市	19,608,486	2	655,787	4	18,952,699	2	108,576,627	1	6,138,166	4	44,732,091	1	57,706,370	1
小田原市	8,325,948	8	423,034	7	7,902,914	8	35,166,763	5	5,417,798	6	11,315,316	5	18,433,649	4
茅ヶ崎市	2,812,524	13	132,230	15	2,680,294	13	6,374,690	9	726,045	14	4,047,969	8	1,600,676	11
逗子市	852,889	24	17,951	24	834,938	23	968,942	20	405,921	18	370,831	18	192,190	19
三浦市	4,708,800	10	275,800	11	4,433,000	11	8,896,831	8	2,451,263	9	4,377,551	7	2,068,017	8
秦野市	4,547,754	11	70,080	18	4,477,674	10	5,788,234	10	465,131	16	493,928	14	4,829,175	7
厚木市	2,096,170	16	398,378	9	1,697,792	17	18,869,378	6	2,701,533	8	10,273,655	6	5,894,190	5
大和市	856,073	23	90,473	17	765,600	24	-		-		-		-	
伊勢原市	1,835,678	17	105,219	16	1,730,459	16	1,926,177	17	629,688	15	695,606	13	600,883	15
海老名市	617,652	26	163,915	12	453,737	28	1,588,408	18	1,297,370	11	269,362	19	21,676	23
座間市	301,203	30	-		301,203	30	-		-		-		-	
南足柄市	1,093,548	21	66,891	19	1,026,657	21	1,206,939	19	73,738	21	385,684	17	747,517	14
綾瀬市	137,349	33	-		137,349	33	-		-		-		-	
葉山町	637,896	25	33,648	22	604,248	25	5,210,449	11	745,177	13	2,551,584	9	1,913,688	9
寒川町	2,164,020	15	-		2,164,020	15	-		-		-		-	
大磯町	1,198,542	20	140,546	14	1,057,996	20	2,767,756	13	1,491,636	10	453,934	15	822,186	13
二宮町	578,602	27	-		578,602	26	-		-		-		-	
中井町	233,525	32	-		233,525	32	-		-		-		-	
大井町	375,196	29	29	27	375,167	29	7,072	24	506	24	872	24	5,694	24
松田町	577,306	28	4,738	26	572,568	27	2,102,931	16	13,098	23	396,853	16	1,692,980	10
山北町	1,547,213	18	44,915	21	1,502,298	18	569,695	23	340,663	19	36,260	23	192,772	18
開成町	251,547	31	-		251,547	31	-		-		-		-	
箱根町	19,510,000	3	3,938,000	2	15,572,000	3	89,941,352	2	66,551,319	1	17,868,553	3	5,521,480	6
真鶴町	1,017,303	22	20,681	23	996,622	22	2,334,600	15	147,334	20	1,989,323	11	197,943	17
湯河原町	3,914,052	12	596,699	5	3,317,353	12	9,848,070	7	6,265,338	3	2,089,929	10	1,492,803	12
愛川町	1,242,947	19	51,664	20	1,191,283	19	612,640	21	448,028	17	125,740	21	38,872	22
清川村	2,352,831	14	7,267	25	2,345,564	14	608,156	22	22,384	22	45,658	22	540,114	16

横浜地域	54,290,940	1	8,364,462	1	45,926,478	1	-		-		-		-	
川崎地域	15,726,263	6	966,456	6	14,759,807	6	-		-		-		-	
横須賀三浦地域	27,395,202	4	1,084,952	5	26,310,250	4	137,005,485	2	22,650,958	2	66,570,156	1	47,784,370	2
県央地域	17,189,436	5	1,159,607	4	16,029,829	5	26,032,430	4	8,451,950	4	10,911,764	4	6,668,716	4
湘南地域	39,666,783	2	1,248,727	3	38,418,056	2	128,100,639	3	10,493,694	3	51,923,655	2	65,683,290	1
県西地域	36,845,638	3	5,094,987	2	31,750,651	3	141,177,422	1	78,809,794	1	34,082,790	3	28,284,838	3

3-27~3-33 令和5年神奈川県入込観光客調査

注釈

3-27~3-33

1)2023年中の値。

2)表中「-」で示したものは、調査未実施のため推計できなかったものである。

3-30~3-33

1)数字の単位未満は、四捨五入してあるので、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

3-34

県内市町村の審議会等委員の女性比率 ▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年度の神奈川県内市町村の審議会等委員の女性比率は32.41%です。

県内市町村で審議会等委員の女性比率が最も高いのは横浜市で40.99%(2576人のうち1056人)、最も低いのは松田町で15.79%(304人のうち48人)です。

なお、神奈川県庁では審議会等委員1878人のうち626人が女性で、その比率は33.33%です。

この統計は [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)]

用語 審議会等

地方自治法第202条の3に基づき設置された附属機関をいいます。審議会等は、その担任する事項について調停、審査、審議又は調査等を行っています。

3-35

県内市町村職員の管理職の女性比率 ▶▶ 1位 南足柄市

指標 2023年度の神奈川県内市町村職員の管理職の女性比率は17.83%です。

県内市町村で管理職の女性比率が最も高いのは南足柄市で26.67%(45人のうち12人)、最も低いのは箱根町で3.03%(33人のうち1人)です。

なお、神奈川県庁では管理職1017人のうち150人が女性で、その比率は14.75%です。

この統計は [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)]

用語 管理職

教職員以外で各地方公共団体の定員となっている職員を対象に、課長相当職以上の職を管理職としています。

国家公務員の身分で地方公共団体に出身している職員などは含みません。

統計情報 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)[内閣府男女共同参画局]

公表日:令和5年12月27日 公表周期:毎年

全国の地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況を把握し取りまとめた結果を情報提供することによって、今後の男女共同参画の施策の展開に資するものです。

統計情報 ふるさと納税に関する現況調査結果

ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)[総務省]

公表日:令和6年8月2日 公表周期:毎年

ふるさと納税受入額等の実績、住民税控除額等の実績についてとりまとめたものです。

3-36

ふるさと納税受入額 ▶▶ 1位 鎌倉市

指標 2023年度の神奈川県内のふるさと納税受入額は169億5924万9千円です。このうち神奈川県庁(県民税分)におけるふるさと納税受入額は1億7240万6千円です。

県内市町村でふるさと納税受入額が最も多いのは鎌倉市で20億5196万8千円、次いで箱根町で17億3252万7千円です。

この統計は [ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)]

用語 ふるさと納税

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体(都道府県及び市区町村)に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です。

2023年度のふるさと納税受入額は、各自治体に対する寄付について、2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の決算見込みの状況を取りまとめたものです。

3-37

ふるさと納税に係る住民税控除額 ▶▶ 1位 横浜市

指標 神奈川県内の令和6年度課税におけるふるさと納税に係る住民税控除額は、796億2518万9千円で、ふるさと納税受入額を上回っています。このうち、県民税控除額は199億9933万6千円です。

県内市町村で令和6年度課税におけるふるさと納税に係る住民税控除額が最も多いのは横浜市で304億6708万3千円で、次いで川崎市が135億7805万7千円です。全国の市町村の中でも、横浜市は1位、川崎市は4位となっています。

この統計は [ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)]

用語 ふるさと納税に係る住民税控除額

総務省では、例年実施している「市町村税課税状況等の調」の調査票をもとに、寄附金税額控除に係る数値について、事前に調査しとりまとめています。令和6年度調査は、前年中(令和5年1月1日～令和5年12月の間)のふるさと納税に係る令和6年度課税における控除適用状況(令和6年6月1日時点)を調査したものです。ふるさと納税に係る住民税控除額は、この調査をもとに算出しています。

ふるさと納税に係る住民税控除は、道府県民税と市町村民税それぞれに適用されます。

市町村・地域名	県内市町村の審議会等委員の女性比率		県内市町村職員の管理職の女性比率		ふるさと納税受入額		ふるさと納税に係る住民税控除額	
	2023年	3-34	2023年	3-35	2023年	3-36	2024年	3-37
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	%		%		千円		千円	
神奈川県	32.41		17.83		16,959,249		79,625,189	
横浜市	40.99	1	19.47	9	1,186,197	5	30,467,083	1
川崎市	34.85	7	18.21	11	1,605,705	3	13,578,057	2
相模原市	36.17	4	22.87	4	629,665	10	3,366,176	3
横須賀市	29.25	17	11.68	23	455,693	13	961,506	8
平塚市	27.20	24	18.60	10	170,962	20	799,288	9
鎌倉市	40.10	2	10.74	28	2,051,968	1	1,261,154	5
藤沢市	31.42	13	16.27	14	383,507	15	2,438,683	4
小田原市	31.65	12	11.25	25	1,123,383	6	618,014	12
茅ヶ崎市	27.59	22	25.26	2	172,262	19	1,126,016	6
逗子市	30.97	14	14.52	18	232,606	17	354,525	15
三浦市	17.86	32	16.00	16	772,621	9	69,327	23
秦野市	27.34	23	20.31	7	284,282	16	398,587	13
厚木市	31.76	11	13.37	20	1,065,802	7	783,026	10
大和市	30.96	15	13.33	21	79,098	24	970,478	7
伊勢原市	28.17	18	16.24	15	34,823	30	346,529	16
海老名市	24.06	28	15.74	17	991,254	8	642,256	11
座間市	33.13	9	20.99	6	143,100	21	369,659	14
南足柄市	33.45	8	26.67	1	1,347,894	4	90,221	21
綾瀬市	36.46	3	16.42	13	500,051	12	184,795	18
葉山町	32.52	10	5.88	32	61,135	26	194,441	17
寒川町	35.04	6	20.00	8	58,181	27	106,432	20
大磯町	26.74	25	13.64	19	38,403	28	124,612	19
二宮町	27.99	19	11.11	26	3,129	33	88,049	22
中井町	22.98	30	6.67	30	136,313	22	13,162	31
大井町	24.79	27	6.67	30	28,271	31	35,210	27
松田町	15.79	33	23.08	3	136,027	23	26,706	28
山北町	27.78	20	21.05	5	438,717	14	12,841	32
開成町	27.69	21	17.65	12	207,401	18	68,192	24
箱根町	23.50	29	3.03	33	1,732,527	2	15,931	30
真鶴町	22.50	31	7.69	29	8,135	32	17,011	29
湯河原町	25.00	26	11.43	24	608,637	11	43,581	26
愛川町	29.37	16	11.11	26	61,692	25	50,596	25
清川村	35.43	5	12.50	22	37,400	29	3,712	33
(参考) 県庁	33.33		14.75		172,406		19,999,336	

横浜地域	40.99	1	19.47	1	1,186,197	5	30,467,083	1
川崎地域	34.85	2	18.21	4	1,605,705	4	13,578,057	2
横須賀三浦地域	31.51	4	11.86	6	3,574,024	2	2,840,953	5
県央地域	33.47	3	18.36	3	3,508,062	3	6,370,698	3
湘南地域	28.83	5	18.61	2	1,145,551	6	5,428,196	4
県西地域	26.26	6	13.15	5	5,767,304	1	940,868	6

3-34～3-35 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)、
3-36～3-37 ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)

注釈

3-34～3-35

1)原則として2023年4月1日現在の値であるが、各地方公共団体の事情により異なる場合がある。

3-34

1)「神奈川県」の数値は市町村の計であり、県庁及び広域圏で設置している審議会等を含まない。

3-35

1)「神奈川県」の数値は市町村の計であり、県庁を含まない。

3-36

1)各地方団体(都道府県及び市区町村)に対する寄附について、令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の決算見込の状況をとりまとめたものである。

2)県庁の値は県庁におけるふるさと納税受入額。神奈川県の数値は市町村における受入額と県庁における受入額の合計値。

3-37

1)前年中(令和5年1月1日～令和5年12月の間)のふるさと納税に係る令和6年度課税における適用状況(令和6年6月1日時点)を調査したもの。

2)市町村の値は市町村民税控除額、県庁の値は県民税控除額。神奈川県の数値は市町村民税控除額と県民税控除額の合計値。



Q.1 県内市町村で持ち家の1住宅当たり延べ面積が最も大きいのはどこ？(2023年10月1日現在)

- A.**
- ① 大井町
 - ② 葉山町
 - ③ 大磯町

Q.2 県内市町村で1人当たりの都市公園面積が最も大きいのはどこ？(2022年3月31日現在)

- A.**
- ① 相模原市
 - ② 愛川町
 - ③ 大磯町

Q.3 県内市町村で公共図書館における1人当たり個人貸出冊数が最も多いのはどこ？(2022年度)

- A.**
- ① 大和市
 - ② 海老名市
 - ③ 二宮町

Q.4 県内地域で人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのはどこ？(2023年3月31日現在)

- A.**
- ① 横須賀三浦地域
 - ② 県央地域
 - ③ 県西地域

Q.5 県内市町村で1人1日当たりのごみの排出量が最も少ないのはどこ？(2022年度)

- A.**
- ① 座間市
 - ② 綾瀬市
 - ③ 寒川町

Q.6 県内市町村で入込観光客数が最も多いのは横浜市ですが、2番目はどこ？(2023年中)

- A.**
- ① 鎌倉市
 - ② 藤沢市
 - ③ 箱根町

Q.7 県内市町村職員の管理職の女性比率が最も高いのはどこ？(2023年度)

- A.**
- ① 横浜市
 - ② 茅ヶ崎市
 - ③ 南足柄市

Q.8 県内市町村でふるさと納税受入額が最も多いのはどこ？(2023年度)

- A.**
- ① 鎌倉市
 - ② 小田原市
 - ③ 箱根町

答えは80ページ ▶